



梅卷五載下

目錄

- 廿一心痛 二十一 肝二腰痛 婦人脾氣 三十二
廿三腹痛 八十 肝四脛痛 十一 肝五疝氣 土
廿六消渴 古 肝七痔漏 十六 肝八衄血 血
廿九下血 生 三十汙 肝一鼓逆 七十五
卅二秘結 七七 肝三膀胱 八九 肝四脫肛 一二二
廿五癰瘍者 直 肝六眼目 狹五 肝七耳病 八八
廿八鼻病 平 肝九口舌 狹六 肝十牙齒 痘七

十四 小兒 痘

四十二 瘡病

四十三 婦人

五十四

廿六 心痛門

胸ノ痛ノ種ノ合引アリ並起リケル故胸脇ニ痛

エルハ而心火盛ニ白クマクニ唇紅ナリ痛ヤソハヨク食

生アリ痛起ラサナアリ寄虫快腸湯モ

青十薑十奴十兵十西ナニ三重圓ナシモ吉

三聖圓ハ血百ニ味ナリ

身寒邪アタリ口寒物食し俄心上痛大忌

トタルヘ温中散氣湯 薑十危十桔 薑十

生姜三片文少責 薑 危ア格葉ノ人生藥ヲ研テ

タルアシ漏ガ半土用ア敷キリ

平生コソンナホア跡ミ食シ 虎モロヒトハヨリ

虎モ 虎ハ 実カ 治血鶴湯トヤケレハ

加テヨシ

心痛スル外物ヲ以テヨクワサユル時ハ神ヤニ心ヨレニ

虚(氣)脉モ虚(氣) 痛 半 令 生 善 其

心痛スル如志望ノ半ヲヨヌレハ迷惑シキスルモイカキ

腹空虚ノ大便結スルヨハ下セ 実大 半 + 虎+

股ニテ痛ハ有フ加モ 股ニテ痛ハ掌ヲ加モ

婦人ノ物出シ特病有ス細クヨルカ 治

伏湯通氣品(氣) 亂大 反大 半大 連大 音 + 丸毒

拔(氣)火吸(氣)アムノ 半テヨシ 貢ヲ加ヨ二年後モ

大便結スル虎 実ヲ加モ 腹胸アリツクツクハ

兵 機機ヲ加モ 半是冷脈伏ノ自體ハ附子大加

コラヌベアニアニクムスヒツキ頭カケ西ノサキヲ前ヘマ

シ西ノ紅白頭ノサキアリトノ外 墓ヲ付テクルリハ

背(廻)レ音ノアリテ西ノ耳ノ耳ノ一處合セ其トニシ

レルレラサレニ七十面モ發セヨ一期ノ間アコフスナリ松

ス(レ)

治參

溫中散氣湯

葛十

危(氣)火

通

赤中通

連善

九

名薦ノ用ヨ

救無薦ノ朴

助出ノ相ノウコリ痛ノ

壳耳も薦ノ用ヨ

心痛ノセキ湯ヨシ

薦一壳紫も耳西貴

心痛ノセキ湯ヨシ

薦名薦用

心ノ平

沈者降氣湯

沈薦窟耳本音薦右

心ノ平

即身

心痛ノ熱ノ倫急門テ不メヨレ 三黄丸ヨレ

五味子ノ薦入ハ倫急門テヨレ 大豆丸ヨレ

五丹子ノアノ宝丹ヨレ

大豆丸ノ水テ用ナリ

心痛ノ熱ノ薦ノ薦ワソマ、百十、合テ丸ヒ水テ

用ノ胸虫ヨリ

心痛ノ熱ノ里魂ノ拔木ノ薦スレ汁テ用

心痛ノ熱ノタミイキサレナトニテ胸ワキノ痛ワヨキ

アリ転ハ耳ナカツ暗物ルトアリ 玉丹ノ思ホヒトノ

心痛ノ熱ノタミイキサレナトニテ胸ワキノ痛ワヨキ

心痛ノ熱ノタミイキサレナトニテ胸ワキノ痛ワヨキ

心痛ノ熱ノタミイキサレナトニテ胸ワキノ痛ワヨキ

一寸白ア高エ 桂木ノ皮エ 大根ノ木 桂花人合
候ニ白アキ 大服、兼々、腰痛、右耳、粉丸、鷹脚
ア耳ル口傳

古二腰痛門 大婦人腰氣

大腰ハ西臍ノ所在シ氣ノ人、血液ヲ流通スニ時病、
病ナレ或ニ病更ニ過レ腎水ヲ精けフニ腎之氣を流
行セス血液セ宣通セス氣血腰ノ間、滞リ、アキナウチ
終ニ痛ヲ生ミ多氣え塞シハ腰脊邊痛ニ多血トコト、
ノ腰ノ外縫也、骨盆ノ腰痛、筋心火、毛玉火、
リ、コラリタルヲ流通セヨ

補腎通氣湯 桃仁、枳殼、巴戟、桂枝、芍藥、大黃、

桑葉、桔梗湯 桃仁、枳殼、巴戟、芍藥、大黃、
芍藥、通氣、性ナシ腰甚ク重ク立居ナリヤクク天名リ
セヨレテハ腰アモノアノシキ下坐ノ滞氣ヲ宣行サセ
シノリ、腰痛緩ナリ

除湿溫氣湯

羌活、巴戟、荊芥、

白芷、葛根、

甘草、白芍、桂枝、

既ベ本ル、ウタヒ馬車ヨリテキ隊^{アシカ}越後ハ子ヲ用行

如^ク腰ヲタカヘシタケハ瘀血ヲ退^ステ薄^シ氣^ヲテ元^ス能^ル

フ養^ヒ先^ニ 紅^シ 橙^シ 七^シ 虎^シ 実^シ 茄^シ 徒^シ 大^シ

紅^シ 実^シ 無^シ 地^シ 中^シ 以上腰痛大抵^シ 療治^シ 上^シ 既^シ 延^シ

腰痺^シ 連^シ 来^シ 淫^シ 腰痛^シ 本^シ 既^シ 大^シ 加^シ

起^シ 痛^シ 既^シ 腰痛^シ 本^シ 既^シ 大^シ 加^シ 只^シ 重^シ 令^シ 既^シ

大便^シ 緊^シ 虎^シ 実^シ 無^シ 拳^シ 加^シ

ツヨウ痛^シ 既^シ 腰痛^シ 本^シ 既^シ 百^シ 六^シ 放^シ 加^シ

脚足^シ 痛^シ 既^シ 大^シ ワ^シ 既^シ 中^シ 既^シ 大^シ 加^シ

熱ノ腰^シ 腰痛^シ 既^シ 腰痛^シ 本^シ 既^シ 大^シ 加^シ 只^シ 重^シ 令^シ 既^シ

腰痛^シ 既^シ 大^シ 加^シ

ツヨウ寒^シ 既^シ 腹痛^シ 既^シ 百^シ 六^シ 放^シ 加^シ

脚足^シ 痛^シ 既^シ 大^シ ワ^シ 既^シ 中^シ 既^シ 大^シ 加^シ

熱ノ腰^シ 腰痛^シ 既^シ 腰痛^シ 本^シ 既^シ 大^シ 加^シ 只^シ 重^シ 令^シ 既^シ

腰痛^シ 既^シ 大^シ 加^シ

ツヨウ寒^シ 既^シ 腹痛^シ 既^シ 百^シ 六^シ 放^シ 加^シ

脚足^シ 痛^シ 既^シ 大^シ ワ^シ 既^シ 中^シ 既^シ 大^シ 加^シ

熱ノ腰^シ 腰痛^シ 既^シ 腰痛^シ 本^シ 既^シ 大^シ 加^シ 只^シ 重^シ 令^シ 既^シ

腰痛^シ 既^シ 大^シ 加^シ

ツヨウ寒^シ 既^シ 腹痛^シ 既^シ 百^シ 六^シ 放^シ 加^シ

脚足^シ 痛^シ 既^シ 大^シ ワ^シ 既^シ 中^シ 既^シ 大^シ 加^シ

熱ノ腰^シ 腰痛^シ 既^シ 腰痛^シ 本^シ 既^シ 大^シ 加^シ 只^シ 重^シ 令^シ 既^シ

腰痛^シ 既^シ 大^シ 加^シ

ツヨウ寒^シ 既^シ 腹痛^シ 既^シ 百^シ 六^シ 放^シ 加^シ

脚足^シ 痛^シ 既^シ 大^シ ワ^シ 既^シ 中^シ 既^シ 大^シ 加^シ

熱ノ腰^シ 腰痛^シ 既^シ 腰痛^シ 本^シ 既^シ 大^シ 加^シ 只^シ 重^シ 令^シ 既^シ

腰痛^シ 既^シ 大^シ 加^シ

ツヨウ寒^シ 既^シ 腹痛^シ 既^シ 百^シ 六^シ 放^シ 加^シ

脚足^シ 痛^シ 既^シ 大^シ ワ^シ 既^シ 中^シ 既^シ 大^シ 加^シ

熱ノ腰^シ 腰痛^シ 既^シ 腰痛^シ 本^シ 既^シ 大^シ 加^シ 只^シ 重^シ 令^シ 既^シ

腰痛^シ 既^シ 大^シ 加^シ

ツヨウ寒^シ 既^シ 腹痛^シ 既^シ 百^シ 六^シ 放^シ 加^シ

脚足^シ 痛^シ 既^シ 大^シ ワ^シ 既^シ 中^シ 既^シ 大^シ 加^シ

熱ノ腰^シ 腰痛^シ 既^シ 腰痛^シ 本^シ 既^シ 大^シ 加^シ 只^シ 重^シ 令^シ 既^シ

腰痛^シ 既^シ 大^シ 加^シ

ツヨウ寒^シ 既^シ 腹痛^シ 既^シ 百^シ 六^シ 放^シ 加^シ

脚足^シ 痛^シ 既^シ 大^シ ワ^シ 既^シ 中^シ 既^シ 大^シ 加^シ

熱ノ腰^シ 腰痛^シ 既^シ 腰痛^シ 本^シ 既^シ 大^シ 加^シ 只^シ 重^シ 令^シ 既^シ

腰痛^シ 既^シ 大^シ 加^シ

ヒラサヌ故、腰痛ニ股腰スミト生シヤヌ後腰又
ケナル殊ニ留ム。陰莖大ナリ。其女二十歳にてハ心地極
果スルナリ。經脈ノミナカニ深衝トミ。衝任ヲ破シ流
政。ナカリタクレ既。十四五十六七歳。或テ衝任・經脈ト
モ、ヨリ血海シ。依テ月水ヨク流通ル。結合ノ道ニテ、
物アキ固。獨居シ。神氣流散シカタク漸々。氣ム失ホケ
ヒテナクセシホトクツミナク。和合ノフナケレハ。衝任・經脈モ
ヒヨエリツナヘ。血海ノタマリ血トナリテ月水モ次第。ホ
シナリえ。霧結モツツナ表ヨリモ散セス。程ヨリモ
速シトス。日等ト取テラニ。此、空ト色ノキヤレテ
異トカナフ。セナケレバ。直中ニカヌ。月水ソ如クル。節律ハ
トウルホイ。液テ後。八月水ハタト。ナリ。腰痛リシニイテ。
遂居ナリ。終ニ腰スケビナシ。如セノ痛ハナ年。廿年
アキ立危後室十ノトハ壯年老年。ナモ煩ヒシマシキ
時。腰痛。驗アリ。極ナハナリタク。遊山既水足。散
熱シ。面白キアラ。見物レヨキ矣ト詰リナカミテ霧結
シタル。ヨリ。液散セレ。加勢ノ形氣ヲ調テ。是血流通
アシノ日。月水モソロキナトワセバカ。調法ス。

表得氣ノ散セルハ良

上

本草書

奴案

肺附 淳氣を散し氣を散行

血海ノ瘀血、通スルハ 桃紅

丸六百

血熱ヲサリ 健ニ補ハ 生半味

丸六

下血、桂熱有ア白澤、白澤ナカレ 晚ヨリ夜中、及テ身
不ヲタフ、中止ハヤハ

如

百

上止シヤスク面アヤク胸ケルシテ氣ムセテ嘆時也

麦門十寫、辛ナ責ナ庵ナ葦ナ耳キ

又心ナモ尽カス無合ノ道モ有ア腰ケルシハ皆血ノ道

也ナリ

ガス食後血ケ乱シ血ノ冷ス食更ナトドニ止ム氣ム通

セシテ既テ過ノトキラムスホフナシト鶴ナ血ケルハタトキア

シテシテ種ナイン法ル、邪氣、アメリ乱、雜食ヲレ疊

多弊也、故、月後通シ焼テ腰眼ノ間、澤眉ノ洲、

用ヒトナリ經絡、澤フナシ故、采衡セナタリ采衡

而ヒスヒ同次第、其日シ體ヘル故、腰ヲモノ病、股スクニ

しこレ後ヘ起居ナリカ子行矣、叶スナリ

風邪ノ、飴、苦ナ肥散シ

五分酒、淫邪ハ已、伏見丸退

推邪、白

如六首ナ

マニシ

瘀血丸

火候丸

生

全蜀丸

温通セヨ腰腿ノ血ノ道ニ通セヨ
血ノ脈流通セスヘ半大七
赤十六白十近ノ類ナ血ノ神

血ヲスシフセヨ

金胞育ニ元十九椎ノ左右各三寸ツ

腎俞ニ元十四椎ノ左右各一寸五分ツ

腎俞ニ元十一椎ノ下アリ以上三穴ハ

婦人ノ腰痛走ケ盛裏ヒ灸セヨ一處五十壯百壯ツ

活血

薏仁大弓ナ七十莢十九杜仲
右酒入ノ煎

用ヨリ二味取

羊質虚ノ腰ニレニレ行ナヌハ金主細辛主

引葛セセケ芍今杜仲半

伏牛草五全食前用

助手

腰痛之法

一所治腰痛ハ首人地ト寒ヒ温ト温ト

瘦人腰痛火熱ナリ

艾火敷湯

老人腰痛熱ナリ

中寒益火之方半

當母

打身ノ腰痛ヘ熱アリ

中寒

血ノ通ノ腰痛ヘ寒アリ

中熱ノ寒

天氣ノ寒アリ腰痛ヘ寒アリ

中寒ノ寒

一 腰氣ノ腰痛ヘ寒アリ

大熱ノ寒

一 布入腰乳ヘ冷アリ

活名ノ 衣破

サウ酸アリ

一 檜乳ノ腰乳アリ

白丸青胡粉ナ

指搾口傳

一 腰痛ノ腰痛ノ証肩熱アリ先玉丹ニア下ノ後室丹用ヒム熱アリ

古三股痛門

八ノ腰痛スル者ハ腰乳沈没寒アリ腰散ノサホテ用テニ寒

二 腰乳熱氣ノ腰散セシノ腰熱ノ運行セシモ

三 腰乳湿中湯 葵生姜ト薑ナ 生姜ナ

朴

解帶ヨク久中血虛ノ食更消スルトウイドモ消レタキ

五鳥丸ハ生冷ノ食物ヲ避テ漸々食機ト成テ緩モ而
ツ生大便ト行シ前モ一タソ痛甚ノ大便通ノ後エルヤセア
心安キハ食糧痛ノ腰痛也ノ腰散ト行氣ト通利トノホ
ト東用シ

七腰乳寒日湯 虎ナ 実火

一 腰氣中血、血氣水流域熱ノ腰散ノアラテ腰散ノ小

一 腹痛アリ 常時心小便アリ

合利通氣散 己ナ奴ス 佐ナ朴ナ

以上此類アリ 治ラシキニ膏氣アリ 解スヘシ

一处サリアリ痛レ 別ノ外クソリハタラカス 痛増減ナリ
起血ナリ 起血葛痛陽毒丸 杏十虎十葛十経

一 腹中常熱有ア痛ハ桂枝熱病ナリ 腹空ヌミテナリ

門リ腹中滿空ナリ 宽田湯 虎十蜜十朴十奴

石生丸

一 腹上心脇イタハ心痛門リ 寧血收腸湯アキヨ

不善人腹裏ノ腹内熱アリトモ自らア用ヒテ膏氣アリ
之を膏氣アリ血病ノ理ハシハサヒ用ヒテ膏氣アリ
此ノ取效ノ印有ナ温散ノ散アキニナリ

高辛

一 腹痛ハ皆寒レ 大抵中熱ノ革ア裏し本音先ニヨ

外スアリ名ナアズノコトハ半アレ半アレアリトモ

一 腹痛アセ 腹痛是モアノヨリヨリ本ニ火熱ノケホ外リ

一 霜脹ハ熱アリ三葉アリ水ナ用テヨシスハ草

一 腹痛大熱アリ 正丹ナ下人堂母ヨレ

一 大而軟脹経ア流行スル候敷布シテ膏氣アリ

一 大而軟脹経ア流行スル候敷布シテ膏氣アリ

一 大而軟脹経ア流行スル候敷布シテ膏氣アリ

故に而服引病アシテ引フ吸ニテ通入病肝木

大遮ノ肝膽ノ二經ニシテ氣血之運行セヌ故ナリ

寧肝通氣湯

青皮大

陳十

甘草+

西

葛+ 石+ 安+

大肝ハ尤ニ居ス膳モ赤肝ノ姪葉ノ間ニ取カナイルナリ
故に脈動尤ハヤリ傳ニ痛ハ肝膽ノ病ナリ熱ゼハ
青葉+ 馬刺+ 番十 安+ 冷ハ 主日大+ 三+ 大+ 安
食ニクナレラサ

收沉枝+ 蔊豆+ 痛大便主危

葛+ 丸虎

右ノ圓脉寒ノ脈ヨリ脉ヘイタニ食豆ヲスレハイヨ
イタニテスハ食寒ノ病ナリ羊角+ 安太朴+ 売
虎+ 甘草+ 番十

一寸葛湯 服ノ下病コスヘカタクニ主ニサシ細

一石ノワキニ痛ニ或ハ腫不食ニレ完全耳+ 重葛用

一枝葛湯 虎ノ脇病ハ壳+ 丹+ 附子ノ酒ア用ト

一枝葛湯 虎ノ脇病ハ壳+ 丹+ 附子ノ酒ア用ト

一 気氣アラハ 三葉丸ヨレ

一 気リツクノ 腹痛ヨレ 陰氣湯 流れ久ヨレ

一 血ノ道テ脇痛アリ 四物湯 清石散ヨレ

勘弁

一所詮吸ノ病ムフハ熱カモカモレハ體物ヲ熱ヌ
中寒ノ病 三葉丸又玉丹ニテ下スヘレ血ナマバ
大しき革又ハ急心痛如カシテスリテ候フ體モノ十人
玉丹ヲ下ヘシ

止血 痘氣

足之筋骨筋肉等ノ病也、非ノ聖施皆病也、引病者、寒
寒氣ヨリ革ノ筋骨筋肉等ノ病也、引病セアリ以上皆肝經ノ病
ナラカニ足ノ筋骨筋肉等ノ病也、引病セアリ、引病セアリ以上皆肝經ノ病
是筋骨筋肉等ノ筋骨筋肉等ノ病也、左右各立金ウソナリテ速解ヒ
寒氣ノ引ツリ、痛セカリテ、セモソナ吉ノナキモアリ或病在
チ此ノ如ナルモアリ或ハ声在テ聲ノナク如ナルモアリん諸論、
ヨリ皆以テ寒トエ其イハヒノ寒ハ取リテ主ニ經絡寒ニ見
時ノノケルヲナスノ引シ故、痛ノ生スト論セリ是ノ身テ不
運也十人ナリ大抵病氣始ヒテ肝經ノ經絡寒生ト久

經え、薦ノ伸シテアス其上、寢仰。必得寒外敷シテ
え物ナリ故、内、温熱ノ薦スルトナ、憲レ故、寒アメリ
テニアリ又天地ノ温熱ヲヨリ、モヨリ、温熱、飲食、過
時セラコルハ肉、アソ温熱ヨリ温熱ノアヌル故、温熱アソ
リテモ、ウコルナリ。

遺症補消湯 薑大、白芍、玄参、危、半、ニ、漢桂、
厚退子、巴、青木、青木、草、生丁、此類テ、輕絶。
元清氣ノ流通スヘシ。身、心、口、舌、鼻、目、耳、
肉筋、筋、腱テナラ、此上、加減、自、可。此取根絆、
之、

苦丁、加味、桂枝、芍药、甘草、大黄、白芍、玄参、桂枝、白芍、

醉飽未オハ大用、起、治計入心ヨリ、心ヲ至ラベ石膏、芍
药、桂枝、白芍、玄参、桂枝、白芍、玄参、桂枝、白芍、

苦丁、加味、桂枝、芍药、甘草、大黄、白芍、玄参、桂枝、白芍、

太、怒、心、大、肝、子、川、股、ク、チ、怒、アト、心、ヲ、ク、ハ、草、青、加、

以上、合、テ、人、淫、熱、筋、肉、相、交、ナ、ア、心、氣、、療、治、リ、

見、貧、乏、人、サ、レ、俄、增、減、ナ、ム、モ、如、痛、シ、活、血、胞、川、

湯、紅、テ、安、ナ、ス、胞、川、薑、子、桂、枝、芍、药、加、味、桂、枝、白、芍、

卷大鼓ハ足ノ大指爪ノ根ヨリ外縫ノ外スカタラト
アリカセ社会效益面方ナシ肝経ノイタル外

丹田輪下三寸アリ世壯五十壯タク久全スヘシ

車門ハヨコハ胸ノトライアリソハサマニ子サセテアヒノ足ツカ
キテアシ人臂ヲアケ物トアルアルアラ首ノサキノフシ
ハシシクモトナリ起チクシハツレノロゼハ子テノ時此月ノトネドア
キ故アリハ三百壯冬セヨ是モ肝経ノ通行スル氣ナリ
三陰爻ハ肉渾ノ上二寸アリ世壯タク久全スヘシ

瘧病ナシアリ或ヘノノウケモトカタマリ引ツラスイタミルハ
ト有神ナシノリ新ノ病也新ノ病也新ノ病也新ノ病也
新ノ病也新ノ病也新ノ病也新ノ病也新ノ病也新ノ病也
一社九火大寒ニ寒極也モ煩アリトニ正病氣々々審
トニ大熱ノキ用ヘレ別・療治ナシ

一病氣ナシ人何煩ノ至也病氣トニエテ大熱ノ革用
ツルツルノ革用ノサマニス

一星若ワヌスクハナアフリウワクナムラサリソハ食
タケ合ヨキカケアエリカタクハ骨脛ラヘルソコラ骨
体寒ニサハ浦渴内

一多湯水タ合の食莫六步ノ大便再加ルハ上寒渴痛

心火大肺金火生炎加熱す。甚大者、水谷之熱也。水谷之熱
ア逆火ヲサク支門テ肺金ヲマレ。舟子活ニテ清氣ヲ
引キ水火ハ通済ノ氣ナル。レ酒肺安胃湯ト名。書ロ。し
渴水ヲセタリ。番ニ食古豆ヲヒ。苦中ヨリ多用ナ。小便赤ク甚ナ
火中血ノ消渴ナリ。

胃熱毒ノ水谷ヲトロカシ運丁ハ甚ハヤキ故ニ津液生ヌルナシ。
故ニ食更アヘヤカテヒタルク瘦チ。汗イチ大便カタク小便
益津湯。名志摩。齒連。山宣。ア田口大父酒。レ虎突。王入健
アケルレ。次第。病勢アハラカハ某カヲセヤハラカ。合和ス。レ
渴セハ下焦ノ渴耳。利金門及大便。甚ス。解熱。利尿。生津。止渴。大便

陰ノ水泄。リソルイレナリ。
益津湯。知。酉。テ。水。中。ノ。火。熱。ヲ。退。ケ。茅。活。テ。糞
泄。ノ。補。イ。不足。レ。タル。水。ク。マ。ス。ヘ。レ

ヨク食ノ渴也。如十石膏中年々。今ト

食多渴也。葛根大本十白薇十全十草。

以上上中下三焦ノ渴病ヲミ合ヤウトナシ。アテカリ。一。大
仗。虎。如。ノ。腫。ア。次。蒸。ニ。解。砂。ア。活。麦。門。テ。肺。ヲ。ウ。ル
ホ。レ。辛。六。ア。血。液。ア。レ。極。陰。寒。退。ケ。本。今。等。四。

後ノ生エニヤウ。治スヘシ。
治癒ノ人ヘ、半ヌラ用ヘキテ、汗ヲ發ルトナカレ。者中、天
花粉ヲ湯クタゞ、飲セヨ。桔子葛粉ノロスルヲニナリ。

參食後更々甚ニシヘレ

脚弁

一 消モ渴モ三焦ノ大熱也。三黃、石主、芭硝ノ類ヨレ。
餘ノ寒冷ノ革ハ其性カルキ故ニキヤス。

二 玉丹ヲ下ノ空丹、テ肉熱ヲサマゼバ、渴イユルナリ。
前、寒冷ノ革テ渴ヤマスハ、中熱ノ革ホテ用テ渴ヤマリ。

脚弁

大瘧ノチニニ連、飴食スルヨハ解氣ヲコタツテ、桔氣ヲ運
化シテアタハス。清潤相濟、斯ニ大腸ニタリム。土金屬之
氣故、所本脇吹、タ多リケヤシ。肺中、風氣之生ノ終、肺八時満
生ヒナク。肝ノアタハ、心ノアタハ、脾ノアタハ、腎杜ホトニ物ヲキ滅ヘ
痛滅宣エク。或ハシタニタ大便スルコトニサハリ、痛ニ長生モナリ。又
子ニ時ニ體アシ痛、甚シテモ、量計ナカトナリ。是ハ瘡ニ或肛
門アリ。すニ寸頭ハ四疊モヨリ、膿レアカリ桂石ナカタ後ハ己テ
ノ元ヲタヌ。時ニ、ヒトニ隨テ大便ニ止ムト出ル。或リロヒ

丸ノ湯トモ

其脈沉シノカアリハ治シテスし浮太ノカシナハ治シカタシ

痔内革ハ四ア心持アリ 治血煎腸湯

右尺沈寔シ數下血肉熱アス人柏 苓尾連危ア
火ヲ海セヨ

腸中凡有チ時 下血セハ生半根角ア血清し血ヲ生シ
桃子無ツ船ス

大腸ノウルニ尽チ大便ナキ結ゼハ虎奴 仁ノ指ノ大
便ツカルニ通セヨ 無ツセ用ヨ

膾ノ漢者ハ止化ヨ 通身ニニシテノア

アヌ又胡アフコク葉メアドフナリハレ消レ病ヤム
房ノ白朮ム 木蟹子 五倍子 二種ホウ肩ヨ 又カタツミ
ラエレテ於レツ付ヨ

漏瘡久クオララスハ脉ヨリ人ニ 茵豆末ノ封ア氣血

智カク補イ風邪癰瘍想起アスハ痔瘡治 陰ア加減スシテ
ホウヨアヌラウケサクアトウリス人苏タ取リノケソヨノア
ツカツレムヘカ・ラス 既此モ其ノクトク萎セヨ 生毒ヨケ人細ニリム
ニコ対室ニ野耳毛大・クアテ燒テ小蘋ニクシ取出シ

タマクナリニ二枚オノ余トアト、射ラ
石湯ノ完ワカリ慶クノ肉アカーフス、馬サハ根、スリテ湯丸、
青ヨ同アリ平等、ナラハ取ナキヨ片時、同、肉アシ物シラキ
述ガ肉タクアカリテミヌ物、其後ヨキ、意日本ノ骨ヨ

又、鹿角、白燒アホノ骨ヨ

勘弁

ニテ、一病ハ大氣主薦丸用ナシニス、玉丹ヲ下室

母子用ニスハ太也

一、痔ハ大熱チリニ膿出リアル腫物トヒニア腫物、故某ナタヘ

常ニ杏連竟湯、又ハ三世丸の用ヘレ

一、腫物、故某ナタヘ、鹿角大、沉

共六兩王、右

一、口ナ禁ラシカ常

一、不正丹ヲ用ナドノ、空丹ナ内熱コナマスヘレ

一、常ニ蛭カイヲ細ミノ血ヲトリテヨレヌ、サハリニテ血

ニテ、七八、衄血門、衝吐血、呕血、咯血、咳血、瘡血

皆水瘡之ノ陰丈沸脣ヒ血瘡大、隨子舌、子ク陽盛陰虛、

故、鼻ルリノ有降トヒ炎上ノ氣、サソハレテ陰血肺、

エフ裏、出ヒ法さサヒ陰ノ神イ陽ヲ、サテヨ氣ヲ降ニヘ

テ、不正大クサクル、革、爲ナシ、門ナ無、陰ノ神イ血、

ノ、山ナ無、陰ノ神イ血、

直ナテ氣ヲカレヨ有し風邪モ上身内熱トクニ屏深キ
薦本シタクミモ寒セヨ冷水ナキノコイナヌラレ頭ノ企立ノ

タニシタキアタマ、マニアトリカノ

極ヨリニナキノ中指ノ亂ノ根ヨリ二分計木ノ方ナシ化シ
全門ノ軽十衝ノ丸ノアタリ丸ノ完ヨリ白紫血多ナラシ
ハシ右ニハ右ラレ面ヨリ出ハ面ラレ裏紫血タヌタリキ足ニ
（セトウクニナハ全ミシ）

大椎背ノ第一ノ椎ノ下セシ七壯灸セヨ

腎火燒ノ腹摩入ニ止ムシ三壯灸ス

洗浴

一人ノ身與水ノ混ルト加シ其温ノ半、堤テワキアセケ
川ノ水下（清レスノ上）セキアナルシ其如ノ身ノ中、前堵
口ヨリ吐ナリ吐血吐血同キナリ、想ヨリ生スルナリ思
そシ心肺ヲヤブリ吐血スルナリ又古四十丸ヨリ三倍ナ血カ身
アリナリ吐血スルナリ

一 葵本草通荷薄草茎麦門阿膠 今葛
今葛 烏梅石童ノモ散メモれソセ麦門ア葛汁
チア又車前子ノ湯ナ用松ヨリ論、墨アリ人ノ血ハ
只川水工流行タレシノ物、當波ト金物翻シ更テ

氣アタレタシテクナ後キモヒテ吸血セラシテ
ル歟食ミ通シ熱ツキニサモ杏セシミヤマレ・机ツウミニ
セヌヨリ宿ケイツリトキナホレシムシ肺・リコトキツアシテ肺四
ツナアリ吐ニ取ハレツムハヨシ薄ハアレ、余ハ七日えトムア余ニ又
四五シタクワリキ一ナナ今ナリ苦ノ風モテ風ヨリ又病シトル

一 脾胃「ナ食ヲ通シヨ

一 血通「ナテ血ヲ調ヘテ吐血ナラル 苏葉、烏梅、杏仁、蜜
半支、右煎し用ヨ」味本ニアル者、支門也。味甘、性平、味酸。

勘舟

一 大山抑シテ大寒ノ氣ト寒ノ氣ア法ル

一 空丹レ玉丹ナ下ノヨシ

一 大山抑シテ奥異ヘ改今ノ經血トマル又ハ呑ヘレ名血即ミ
五八痛香ナヨシ

一 吐血モ亦陽盛陰虛復年春ナ降ナキイシニル盤治

ノ乳ナリ大ハ發熱芤ハ失血也
清心補陰湯 葛根、空、白朮、芍藥、桔梗、桂圓酒ヲ

れヨリ勝過酒ハ逐火ア退ケニ充丸サケ陰ノ補ノ健良

強腰有ア吐血ヲヘ寒ラ太陽風

吐血有ア寒ラ太陽風
吐血有ア寒ラ太陽風

吐血有ア寒ラ太陽風
吐血有ア寒ラ太陽風

嘔血嘔ノ甚疾ノ内、血アシルシ心熱ノ血虛スルニ麦門大

治瘡

吐血無^ハ同レ茶^{ナリ} 吐無^ハ始^ハ熱^シ後^ハ虚^ス衄^ム無^ハ始^ハ

大熱ナリ

四物湯ヨレ 奇^クリソ^ノヨレ サ^カ病^ヲトル又サ^カレヨレ

高升

諸ノ血上^ハ元^ハ出^ル治^ハ衄^ム血、同^レ何^ノ止^ム血^ミ治^ム石^ニ

食^シ故^ニテ 血^ヲマ^シ 宝丹^テ 内^熱 ラサ^シ 至^丹 ナ^ド 下^ベレ

此九下血門

大血^ノ下^ハ 大腸^ノ 追^ハ下^シ 生^シ虛^スレハナリ。因^チ 热^シト^シ

生^シ辛^タリ。辛^タリ。ナ^シイ^タムヘン。

若大腸^ノ 風邪^ニ 謂^ハ 隘^ノ 下^血セハ 半^ヒ大^ヒシテケ^ハキ^ハシ^タム

奴^ナ

湿邪^ノ 腸^中 入^リ 血^ヲアフリ 下^血セハ 湿^ヲ 通^行シ 热^ヲ 清^スレ

蒼毛^ヲ 湿^ヲ 退^ケ 止^ム 白^モ ナ^シ 热^ヲ 清^セヨ^リ 除^ム 濕^養。

下血[・] 積^シ右^ナ下^血サハ 苦^タ 失^カ 費^ハ 百^ノ 粧^ヲ 救^サ

下^血諸^事チ^シアラヌ^{ナシ}リテモ細^クラコ^リヘ着^中十四粒

ノ^ハ筋^ノ下^金ノ^ハ充^ク五十三百^ノ粒^スハ^シス^カニ^シナ^シ而^シ足^シノ^ハヨリ

胸三才トオツ竹テ取テしリ背アラレ西ノキムス間
ヨリ脊ノアシナイトノ風音座十人計ヲモナリ一世ア
ラヌナリ

ラヌナリ

活血

一 身ノマトイハ血ヨリ生スルニ管口流ト云物ナリテ身ノ
内アヌルナリ故ニ氣ア結シテクヤフレハ管液乱ノ血
ヨトルナリ風ニ引ハ墨ノ前ニ血ヲ下モ太陽ニ燐アシハ
血蓋ノ後血下スニ

一 冒風湯 下血アマナリヒロヨ 本自考吉ニ人今

一 天方 番 烏 氣 治 本 素 極 黄 鮎 用
行 蒼 葵 清 魁 芙 葉 フ カ (剪) 用

一 人吐血歟血回シ葉ナリ吐血ハ始熱レ後塵又蟲繥始終益
一下血ハウ芍焉柏地俞蒲黃右丸し地俞ヲ煎

細、用ヨ妙ニトニルナリ

一家ノ密サキ也 各此ノ香物ナリ

一 体ノ補ヘシ葉ハ峻散門アリ

一 爾奮連壳湯ヲ用テ然ヘシ

一 二重弱舟

一 下血無道ノ虚熱ニ清モシフ油ノ下血始止又大乙丸白レ

牛ノ皮ノシ 燒ク禁

禁ノシ

禁ノシ

禁ノシ

禁ノシ

三葉丸ノ用ナヨシ

下血ハ血熱ノ虚証ナル故ニタリ瘡レバ赤痢門
チホリ求ヨ

常ニ生丹ノ用ナヨシ

疏リニ一度ツバエ生丹テ下メヨシ

三牛汗肉

大汗ハ心火熱也ト解ナリ。湿大過ナリト火運相合
汗流イフ動スルトキ。行憲タイノ延。自行トスナリ。火ハ心也
子オノ虚火退テ。四ヨリ氣ナシ。補ニヘシ。空十匙ナア熱ナ
西日ノ丸ノ補ニ表虚ヲナキ術也。証ヲタマシアズ

又人乳同湯アヒタル如ク。一身汗出ナシテ是ヲシリ目

アナノ後ハ出サルヲ遣行トシ。是ハ血液ノ虚損冒濁
表ヘナリ。益元養榮湯。草。芍。角。耆。テ。血ノ補ニ或
肺虚レ炎ニ大有ナ胸中イキタラレク。脣。腰。虛。ニ。傳
行共。空ニテ肺火ヲ退ケ。又ノ脣。腰。ノ。ト。ツ。ベレ

葛。參。數。ナリ。モレ今。葛。今。葛。木。身。葉。入。九

ア引用ヲサレルニテ、タリ。金子某カラニヨ。

用シ葉ハ常、大ニ忌物ノ

活塗

一 治カウトハ心臓月虚ノ盜汗自行止シ。其外ノ汗
ト牡蠣散、或中土質根太、牡蠣上生、耳フ、目本散
青、右コムキハ桂入煎シ用ヨ。獨角ラスハ白木己、
テ行ヲカセス茶ハニ薰取即、招捕皮、白木、及ナシ凶加用時
モ平實、右式類用ヘビ、ヒビカヘ、ヒヌシヘ、目

脚井等、マツヤナガ、諸元、吉リ也。

一 治風寒引多ク、羌活湯ヲ行ア必勝、肺土丸モシ
ニ血ノ道ヘ、吉ラ酸湯、活石散、半刺王、麻子
天氣アシラルニテ、盜汗出火大方ハ、血通ナリ撃シ
活石散ヲ用ナ血道ア調ヘ

一 热ノ汗ハ身熱ノ熱所出ル中寒ノ苏冷ノ汗人身冷

一 牡蠣散ナトテ、行トマラヌモシ、丸ヲハサニシ冷ヲハア
音聲白聲、冷ナヨク行、トムレ、ノシ、皇ハ今健也

諸病平氣ノ後自汗盜汗丸物シ是ハ金熱半
冬故ニ三薦九 宝丹ナトヨカニ用ヘシ又ハ小寒、半
冬故ニ用テヨン

一 宝丹ナテ内熱ヲサマシクス自汗盜汗トモニ用ヒ
但シ冬行イシ。夏本一自汗盜汗皆此ニ宝丹(内熱ニモリ)
ホ。或一 故逆門

大人・虚陽ノカクナリ平トニ氣血才大過不及ナキア
和よナリ或ハ飲食少シ等者トニ奉テ乳升降セヌ極トニ飛
ヒトナ寒リ大干起テ氣降降セヌ心數逆出來ルシ
因ハ氣之高ニキロニ前ナ乳升上正ケリ急シア眼
レニア難成ハ復西ハ拘子九者トニ急シヤ以シ飲食未者ナ強キ太
シナタセハク失せん看ハ既シクシレノ原也。他名也。便
疼痛上セアスハ貴士ニ半ナツ候。唐ニ事ナシ。社有尊
唐文選上也ハ此也。子ニ百古ナ萬古ナハナナハ。唐
丸虚萬古ハ人ナナ。白衣中。唐文選。人。萬古ナハナナハ。
佩參入餘地イマタ尽ニス氣虛メ咳逆ノ人。立異。今ナ
若キ耳ナ。生善。利肺湯ト名フカナ
病ノ人。望ノ氣虛し。并降。常ナフスノ。咳逆。人。今ナ
本ナ。費。薦基ナ。活石。耳。立異。二味タキタマニ用ヨ
陰虛丸。喫逆ハ養ヌシガリ

乳根ハ引下す六食アリ。第一社
鬼海ハ勝ノト一寸五分、不食粒。此も食スヘシ

活糞

一味連ト裏大肺、凡フ引西日ノ胸ノトモシキ折節アタサ
食シ曾日ノ胸ヲヤアリ。胸ヲサナリ。息ノアツカイ。苦ツ
ナリ外一息ヲスレシト。ナアスソノ自己田ノ引入ドクリ。トモ
前段、啖連トヘサナセテノシハアキトキヨシハアキハ向ノ自己ノ
胸エヌ。啖連ハ内ノ息ヲ引シ其ノ胸ノアキナルラアキアキ鼻
子ノヨヨイソ自由。アキヤウ。セヨム。ヨレ夙菜ヲ用コ

トモキモニ湯。桂色松クモ。段ノ胸ヲサナレ。吉ノ木。木。木。木。

一 楊皮竹如湯。四日ノ上野處ノ食ノス。セヌ胸ヲナリ啖連
トモラヌハ。更ヌ。竹如太。今少仕中。車ノ宿。柿。薑。川
東ノ生毒。根ナ。兵。右。意。メ。用。コ

一 浮白散。紫白皮。古更太。空。葛草。青。ナ。土。貝。太。
茹大。柿蒂。右。薑。用。コ

勘弁

一 喰連ハ身人地ナリ。虫ナリ。其故。凡寒ニアタリ。君ニアテ
過レタル飲食ノ用。人必啖連出来。恐ナリ。三番入。數中參
某冬。蜜丹。虫。草。太。毛。丸。毛。少。少。

一 痛病傷寒す。嘔吐出水する者。身熱、脈微弱也。

增しよたりと如へし大寒ノまゝ。並ノ其け。テ大しきえ。

草ツ太用(し)又室丹

一 新病ノ嘔吐。冷汗ノモアリ。中熱ノ生。テ 草ツ用(し)

武二 松結(シラカバ)

松結ノ病只一樣。アラス丈四月ハ立液ヲ主ひ故。胃虛せられ
トヨリ津液エタカナリ。此時ハ大便ウレヒアノ如。結ノ病ナシ又曾
未合フニテノ解ハ運化ノ脇舟ヲ潤沢す。ヒノ暉衝卦通行
ア經絡フルホヌ故。脾腎ノ病ナキトス。人脈筋肉皆燥ノ患ナシ。經
脉筋肉皆虚過鏡ノ大半也。起テ經絡カシ脉筋渴急
如此ノ理。テ一身ノクレホイツキ漸ハ松結ア。病生えし此上
虚。量少少入故。風燥熱燥虛燥實燥ア。燥涼尤附
ア。種の津液ア生レ申集ヲ調テ。榮血ヲ生ス。ハ必漸ニ一身ノ
益津潤榮湯 生半々涌白。此取テ。肾水ヲ補し相大リ
血ヲ補し榮衛ヲミタレ。桃仁。紅花。芍。熟。草。此類ナ
漏ノ見ヲモナス。金。升。葛。芍。此類ナ中且人安
氣。腹。脚。浮。浮ゼレム。虎。今尾。丸。在。仁。兵。

ノヒトニテ大便ノリハキナルキレ通スルナリ

益補水補氣ヲ合申用シ漏ヲ除キ氣ヲ降スル朱ヲ時用
大便通下ノ策ラハ五日一包アリテセ或ハ養生末ノ中一二
二粒カツム加ナノアセ病熱ノシタク隨テ加減スルトニモ要セ
相參本源ナルラセ漏セヌ屋水ヲ補セヌ血流ヲモウルヲナス
氣ヲモ昇降セヌヲ做・巴豆牽牛虎ノ類アレ漏下スルトニ
限アレトドガリ一旦漏下ノセアトハ前ヨリモナクモ結スルシ
如甘細・下せハソメテ・潤冬ニ死ニシテ大便結燥スル病者多
行少食ミヘキ又行少食スレバイト・スキ津液ミナ成ラヌ
有腹脹弱ノ大便結燥エルモノハ平生ノククトハヨハクノ小便
土ナシ行無・暮ノ小便トアシヤカクスヘシ小便ヲ過満サフ
用ヘカラス相大ノ寒ラタスケ中年ノ寒漏ヲマヌ敷ノ金鳥寺
學體用ヘカラス

脚注

一 和姑ハ燥熱實地ナリ尤エニ尽ヒテニ便結スルト知シ下ニ
巴更人今ノ某ヲ用ヘヨミ三黃ノ藥・杏桃仁ナリ
油ノシ草・煙ノ丸ホシ 三黃ノ寒冷ノ薬・甘草
ヘシ並葉ハ大寒ノ薬ヨシ 大豆丸ヨシ

一 干糞玉丹ノ用アリ下ノ宝丹ノ用大熱アマヌシハ干

玉舟宝丹妙也

三薰丸ノ如ナラヌリ也 玉汁ノ用ヨ

肛門奥ノ病子ノ清物ナ小切ナサスシ

脚・舟形茶水腫門アリ

三英・温る鉢ノ粉ヲ大ヘア九ノ杏セヨ尾ノ穴・砾石ヲ

アタマクヘ・脚大使通スヘシ

亢・サヌキ玉・塞ヲヨシク子リテ大井ノ突・舟ナ究

奥・サヌヘ・管二本付ニ麻糸四本を用

脚三・膀胱

上多発便・左足手少陰ト右足太陽ト心火也・

ナス故・圓ク・ノミノ生ノ毒牛・右フユルク・如ナム・

微・タヒテ・如ナム・又疾ナレ・左目ノ真水虚損ノ音ヨリ・

弱・足少相大老ニテ・時・膀胱ニモアリ・ナ・

然・肥白人ノ膀胱ノ疾・足ケ各上ノ大・タヒテ・右ナ・

ナ・清心・膀胱沸・煮ナ・羊・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

ナ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

ナ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

脚三・膀胱

今・蓮・危・少

脉沈透ノ寒证石ナ體軍共、酒ニ生姜ヲ加

シテ虛候或ハ金瘡或則漏或則血下血ナトニ血去而

氣少目マス弓ナリ、角中丸草ノ類ヲ用ヨ

又氣付某ヲ各ヨ、肺舌極マレキアル、今主元事、

望三指細ホノカウカイノ耳、心ニヒツクスル陽ヲ吞、胡麻

子根ヲサ入ヲヨシ、生神散ト云

太陰溼土客氣ノ特分甚、長而アリ溼氣甚ナチヤサンア

此也クシ物ニテ首ヲツバシタル如ク目アイ不食ヤ、陰溼渴

木ナギナ、實ニ健ナキセヨ、子母子母子母子母子母子母子母

子母子母子母子母子母子母子母子母子母子母子母子母子母

毛苦ニテ風邪ナ運ケ、今全庖ナ火邪アリ、風寒實、膏

氣散スヘリ

治食

一 肺ト大血ノ方、子母子母子母子母子母子母子母子母

ナクシナ目アリモアリ、又股中壓し命門守護

熱シ下ハ腎虚し命門ノ寺護ナリシテ長病ノ後ヨリ元モ

アリソシム、心ニテ補ヘキナリ

除脳湯 使令葛根草梗壳葛芍藥子

一心肺燥ト知ヒ風寒用 四物湯ヨナリ

右並用

四物湯ヨナリ

一 嘸者同、細、酒毒否セヨ
一 心臓リ病モアリ真心ニ尤ナリ但し婦人虚後ナトハヤハル
「し金瘡セシ前妙者散ヨレ妙調散モレ九草ノ本ノ

各セヨ

勘弁

一 做眩暈ハ冷タル。依テ一虫カラコリタルト知ヘシ大抵ノ事
テ華ノ角シ新病ノフナリ

一 四脚太弱ノ眩暈軍ハ多キ熱シ 宝丹 華ヨレ 太草リナ
サヌ用ヘシ

カツミシ

一 產後或、金瘡出血、眩暈ハ血虛也冷ナリ又火蟲モクシ
ナリ萬キ湯 活石ニ 長砂シ用ヘシ大ヒ革ヨレ

附四脚肛門

大

肛門ノ肥ヨリノ氣虛ノ訛引スルヲアタハスノ脱出スルナリ

血虛レ下焦、熱氣生ノ眩出スルアリ

今ナ此ニミテ氣

柏ナ下焦ノ熱ナサセス上ヨリ耗不脈証、隨ナ加減セヨ
ナフニニニ倍ナク於ク古壁ノ土入アカキニテヨキヤア脱肛

ナフニニニ倍ナク於ク古壁ノ土入アカキニテヨキヤア脱肛

ナフニニニ倍ナク於ク古壁ノ土入アカキニテヨキヤア脱肛

必取ベナリ整武龜頭イフレナリ瓦里燒人未ノ時ノ

油ニテトキ脱肛外アレシ人ヲ

百會ハ眉ノ間ヨリ上ハ才丈一壯各スヘレ

命門ハ十四椎ノ節下一穴三十壯上十壯

龟尾ハ脊ノイレニモ龟ノ尾ト云歟ニ也一壯

泰山足ノコマテノ内ノ下ノ半ケニ中シ本壯

脚井

一 脱肛撫ナリ其故ハ何ナリ良冷熱ニヤクセヘシテ元熱湯

ニタセハル物ナリ候則脱肛撫ナリ中寒ノ業ニヤクセヘシ
取扱ス全然尽ガル依リニ三葉ノ敷ヨシ又ハ空丹乃屋
冷テスヒテ香湯ヲシ

一 杜菖フ吐ア脱肛ヲアフヘ又食テヨレ

一 田螺ヲ食テ室フエキノ脱肛ヲ呑ウヘレ

一名鳳呑フタキ赤雞頭花ク肛門アリ石風呑口上

ラヌスヘレザイ、雞冠花ヲトリナヘヨ

脚立 瘰瘍門

飲食筋ヲ失ヒ膏粱ノ五食ヲ棄トシ肥厚薄味ヲ專

朴人漸々温熱陽氣ノ固生シよシ道

脚附ノサレ津

流寒ト化ノ脈中、澤リ榮路ハ精熱、等上氣紅ノ無脉
故ニ脉外アフレイフ故、ワル肥、レルナリテ、淫血ト邊
次モ、夏陰ヲツクヌ故、陽ノ引致シ中焦、邪熱ノ開水合
早ク消メ食支帝ヨリモサヤンナリ此理ノ如クノ四月衰、下血虚
レタルトニテ辛熱苦杏ノ茱石、服ノ命ノア尽レ水津ア絕
スルト徴シ名ヲ抱テ倒入薪ヲ抱テ大テ救ア如シ故、陰氣裏
少情帝四十歲、以後大概脈物出エル物ニ薰テ救年先ヨリ不
時、致暎アスル、物ナリセ數ノ人アハ、喜目治ノ奉食ウマシ
ノ吉野、茶介ナ松ノ空連柏ナ辛熱ア退ケ生芹、熟芹、テ
熱汗、生薑、白芍、桂枝、甘草、大棗、水滸、通心酒アノノ、及、高
麗、烏梅、白芍、桂枝、甘草、大棗、水滸、通心酒アノノ、及、高

加味養生ニセキテ涼夏養食ウタキ漸、渴ノ而ナリ取セ
平、ナリニス、癱瘍ノ生スルヲクナシテ土膏金モ良友也、
脉數ノ登板タラアノヘ陽ノ脈物有リ其勢烈毫クウツク处里、
一身子アリスク、服セズノ大便結セハ

宣毒湯

芩十

芍十

葛連

草豆

脉數ナクス全無セヌメウツクノ陰ノ脈物ノ大便時、淫辰
年ナ、以上如此陰陽ノ証アキ、治ヌシ
夫一切ノ體物惡瘡、治ヌシ、外、本草集解卷之六

本草集解卷之六

患冬、嘔吐前人瘡治ノ間ノ事も悉々無事に本量し

又湯茶ヲモシラベ

麺、ナリクトウノキ脈、動故有テウニサツナルニ

翹舌飲 危ナ 克ナ 丁ナ 白本ナ 宜ナ 射ナ

トシナミ立止痛ヤモ莫汁ハナリタリ脉レソモナラヘ

加料連充湯 克ナ 蓼ナ 香ナ 白本ナ 吉更ナ

蘇ナ 立止耳々散ナ

瞳物ナ十ナリ時分、風ノ引脉塗ノ煙ハナリ前刺、善活

筋ナ 加

3月、平日ノ後脉取ノ脉弱アリ、不食セバ土豆、青苔、首

ナナ氣クメクヌベレ

平食ア後脉虚シ自行シツヨク、凶ナ 白本ナ 人少ナ

耳ナ 加シナ

平愈ノ後津液虛シ、烟燭ノ大便大丸六ナ廿ナ

小兒ノ赤卒^{草子}ハレリ草すハ 寒冰石

童ノ汁ナトキ合身ヘレキ足ヘナイホレ眼服、全マウケ

ニモ要ノ傳ナリ

大人小兒ノ大丸

再速粒粉 合玉ノ鹽、鹽湯、洗茶水^茶モヨリカセレ

再速粒粉 合玉ノ鹽、鹽湯、洗茶水^茶モヨリカセレ

アヤクシム 軽粉 石膏 生白粉 各半
水引付ヨ フス上ル名サフヲノシルス

即井

一 癲癇ハ熱ナリ先玉丹ナ下ノ金丹用(レ)

一 諸ノ寒瘡腔物寒瘡ラマク金瘡諸ノ草)松葉押す
内茶膏オモギリ相方主心ク別景アリ

武六 眼目門

丈眼目ノ病ヲ治スルノ人ニ象ノロ傳テ也)下吉止氣血ヲ流
通レバ脚ヲ退キ腎水ヲ補益セバ眼目ノクラキ生セサル代
度ノ病也ナシ(此ノ象は前後之脚ノ筋肉也)此ノ象は前後
之筋肉也ナシ(此ノ象は前後之筋肉也)此ノ象は前後之筋
肉也ナシ(此ノ象は前後之筋肉也)此ノ象は前後之筋肉也
年辛門ノ火ヲ消ス芒ナ夫血ヲ補ヘ亥ハ少年壯年ヲス凡體
ヲ通セシカミトナラヌニ浮腫ラニカセハ腫モノカズ痛モナラ
ス即レアリテヤカミシムホリ全周ヤエノナラヌ圓ム必居古又
タクシムレシワカタ居古ヌ過セハ因辛クニコリ腫サレテシハ泡
立ツイマレソ毒物ヲツレム肉末ハ芒六ケ百五加皮
筋空丸 英ニシムモ不吉也
大便熱ス虎ク加 痢邑クハカフ加芒トテス 腹熱ノ狀ルト
ラ正大ハ危ク加 热シイタレ毒ノハレ 呕吐加毒ス此ノモリ

正人國ノ中、昔アシカ耶ニキハテハ、首輪化木頭也ヨリ
シテ、瘡ハ、瘡ヲカヨ。頭瘡ハ、ナタシシノ、苛ラカ。是カラマス
。シテ瘡ハ、瘡ヲカヨ。頭瘡ハ、ナタシシノ、苛ラカ。是カラマス
。因者ノ瘡ノ目アタクシ流テアキニリキヘ、荆ナ、況ウ、丘傍ナ、
連大百ナ、開元ナタス、キヌノ食、今更ノアシナリ。ヨモナリ。

レナ流ヘシ

日イヌトモセヌタシモセヌ先ラヌキハ、毒日耳朝、ラキテ、十六
盤ワカリヘチ相キテ、ロノ中ニ毒ニサスリ、吸ヌテ水、ロ、叶、常
スヒ、同アケルナリ。先テ及テ、先アラテアキラヤシ。

龟眼散

妙色石、黄連、蘿汁、白蜜、童肥、白蜜。

外醫肉障ノ、真珠フヘヨ。タレカエキヘ、銅青ア入ヨ。ト
寒血、浮口、止テ、以ヨリ、赤ハ、驥驥血ラ入ヨ。忌ム、ウ、腎、痛
ナシタ出ヘ、白丁膏ヲ、ゲ入ヨ。

勒年

一、同ノ赤ナハ、血熱、心風熱、依テ、瘡ヘル、物ナリスハ、膜ニ
血戸ナス物ナリ。赤ノ瘡ム目、寒熱アリ。

一、冷ノ目ナリ。胡柳、人吉、毫毛、毫毛、入タル目矣アリメノ
光明丹アタシルナリ。子、名堂、人、連の事、丹否、二、

活石アラシ 鰐目カジカ目 軽脂カツヂ 胡椒コショウ 生肥セイヒ

大青タケ 龙胆リョウタン 以上十味ヨリノスルレシ薑物カクモノ

山桃皮ヤマモモヒ 山梅ヤマエビ 黄連カウレン 大扁オハシ 杏エド 薑カク 蘭ラン

今並アラタニ 亂常ランジョウ 五年後ゴハチ 甘草カンゾウ

一 风热フウセキ 蘭根ランゲン 物モノ リ色紅レツコウ リヤス生見セイミ

金明善キンメイセン 二子ニコ 舍外カクガイ 蓬破ボンバ 丹参テンサン

一石正福イシザクフ 檉幹ヒヤクモン 生熟セイソク 活石アラシ 红辰砂レツソンガ ノ香ノカウ

赤丸味アマリ 红レツ 薑物カクモノ 加前カヘン 但し山梅ヤマエビ 去子クモチ 刮荪カクス

拔齒ハツシ 附子フクシ 二子ニコ 人參ヒンセン 滋養シナウ 人參ヒンセン

桂枝ケイジ 附子フクシ 人參ヒンセン 滋養シナウ 人參ヒンセン 人參ヒンセン

薰物カクモノ 連賢レンセン 咸シ 丹参テンサン 紅勝レツコウ 丹参テンサン

一 大青タケ 活石アラシ 以上十味ヨリノスル 薑物カクモノ 丹参テンサン

余音アマリ 速十シキジ 以上並アリ 丹参テンサン 活石アラシ 丹参テンサン

一 丹参テンサン 丹参テンサン 丹参テンサン 丹参テンサン 丹参テンサン 丹参テンサン

天南星テンナンショウ 天南星テンナンショウ 天南星テンナンショウ 天南星テンナンショウ 天南星テンナンショウ

一 同アリ 亂常ランジョウ 胡椒コショウ 大青タケ 生肥セイヒ 丹参テンサン 丹参テンサン

天南星テンナンショウ 天南星テンナンショウ 天南星テンナンショウ 天南星テンナンショウ 天南星テンナンショウ

一 同アリ 亂常ランジョウ 胡椒コショウ 大青タケ 生肥セイヒ 丹参テンサン 丹参テンサン

天南星テンナンショウ 天南星テンナンショウ 天南星テンナンショウ 天南星テンナンショウ 天南星テンナンショウ

燒硝ト烏鵲太明巻竹石音大儀疏上ノ者
毛瘡一風ノ加ニ子リサホトス 前レ物ハ五味香ノ如

比ナヨリ油ヲ入

一タシ同六燒硝大生胚十石專用モノ細合ノ目包有ル

古七 耳病

夫耳ハ潤氣ノ上リ通スル外ノ相火タクアラヌ潤水セトモセテ
テガル時事中アサドリ鳴フナレニ有潤水アリ相火ヒトニ盛ア
塵ナセソノヨリ耳中ヨリ又ノ蜂ノ鳴カタガリ川原ノカタガハ蜂駆
ノ如レ潤豆ヲフヒテ潤水ヲ補盈レ相火ヲ清シムル某ノ用元萬ト
諸病治スル事多キアリ此ノ用也有潤水アリトモタシノ丸血ヲ通行シ
傳火アリ通火共用アリズストムアシ潤水潤脫シ積えハホ
テス相火也シタクアリ子真鳴リトラン、補腎通氣湯
等ニ行ハ格十 麦門十 加ナ主ナ

或ニ世智、心リ尽レ夫六常、講叙し或ハ久々持輕し氣血渴
滞リ喜アリフサカス季ノ氣ノ煩渴レ血ヲメクマヌカク治スヘシ
大病ノ後ヨリヤセニ精トセシラ田中ノ津流ノノリカモ草青
草方 產後物引送氣サシシ腰血上一襟アリ耳鳴合ヤク氣
草方 產後物引送氣サシシ腰血上一襟アリ耳鳴合ヤク氣

降レ血量血量レ

薑十奴十

大

根

脚

故ノソミサニシ韓廻酒ヲ加ヨ

産後、物アリ過メ産ノトモアリテ是レ元ヨリニハツル人足、
今産後、血氣カイナク成テ直ラボロ、目ミイヒ石ノ人童
人今ナ奇ヘ半大衣ナ薑十草タ生善母入童子、
大人小兒ニカナクス草ウツキウツ計出ハ、牛乳ナ丁ナ若ト

生半人童人牛膚ナ空ナ紅ナ草々

上氣頭痛ヘニアラ、薑アカヨ

頭痛目眩アカヨ

耳聾、風熱有テ耳ナリ蚊子テ膾痛ヘ苛、蒙下咽通尿ト

耳、水火アテ師ヘ石菖ラヌアシモリテナヲトリ耳中アヒヨ

活套

一耳ハ腎ノ虚ヨリ起ナ而ヘ腎虛レ又ハ肺(夙)引ハ耳鳴

圓ヘスハ四物ト用リ又唐瘡ナヌアスモアリ

一草色トモテキタヌモアリ

ニホリ合草ナシツツク入レシ

一耳ニ膿アヌ瓶ナリノホ、草ノ粉ト土壠ノ粉フ合テ

一耳ニヘレシモテ草ノ粉ナシモテ、草ノ粉ト土壠ノ粉フ合テ

之

山羊

一直痛々山島ノ頭ヲ痛ム油ガナリ水ナリキナスヘシ

脚奇

一所證耳ナリキカヌハ風ヲ引カ又無ノ通ヨルレバシ風
引ハヌニ毛活湯ノ血ノ通ハ塵ニ活石ニサキ湯

脛筋故

一老人ハ九十マテ生タレ人眼大明ナ大方耳半カス物也
トキ上安ナシニ又云五支自由ニシフサスルカ室丹用ヘシ

武八病門

人裏火肺氣逆エル如者是ノカニ吸引五處之肺之清虛好
用寒之脉也此之脉之清虛也而通セ六感之吸氣也又及於腰
以上肺中熱矣又下火清虛多クノル又好テ酒之香也過ハ酒熱
肺アゼノ裏火吸酒熱トナル故ハ相大ケアリシフア肺經入
時火紅血出也常肺氣塞リ與其氣通利セスハ

溫肺通氣湯苛大利十童老人肺中大熱ノ火

空庵云肺熱依テ鼻中イタニ瘡アリ舟下ノ加肺
瘡レ裏中ノ氣ニアカイアクハ今主ア細子也
或空庵ト尤ルハ紅半身半身責シ右ナラコナ
達也

胞ナシハ酸豆 乳者 肝粉 鳥鹽トヨリモモノ蜜
調ナキニトヨリニスルハシ酸ハ井花水ト調テモスルシ
酒麴、蜜、庖仁ホトナシテ茶ノ清ニテ運下ス一月計ノ間

酒麴、蜜、庖仁ホトナシテ茶ノ清ニテ運下ス一月計ノ間

酒ライニアフリ物ライムヘシ

臭鶏生メ吉良アラモモ板ハ龜十トニ龜中、臭キ肉生メ
命タニ血ノ止ハ達一工四十三粒半合、末ノ三粒半拂、
ミミナ龜ノ中ヘヨ

膽ノ有、無有其熱胆ノホリ額毒ト泻タル湯カテリテア流
熱之使、血マレルナリ星ノハ、龜圓ト云、達、危、下ニヘ

用ヘシ肺多病ハ噴嗽門チ茶ノ水ヨリナガシ

一 龜ノ内、肺病又アモト云モノナタ龜塞リ、息苦リア

火心上熱ヒ瘡瘍ノ事以テアルシ瘡瘍ノ事ヒ山椒秦ノ
水ニテ呑ヒ針入ナサレ切血ヲ取ラシ

一 鼻ノ瘻ハ明茶、柏ノ粉ヘニトクカノハシノ酸ナトキテ

健ノ葉ヲサキヘスリナサスヘシ

武九ロノ古門

大口脾ノ主外風寒外熱ヒ氣通毛孔ナホヒ

主外風寒外熱ヒ氣通毛孔ナホヒ

主外風寒外熱ヒ氣通毛孔ナホヒ

心脾熱ノヨリ舌苔生し喉鳴及テ脹痛也。吉擅。葛根
宣火角木根中草。身熱口干。瘧生大細辛丸。

脇中ニモリタル熱毒ノヨリセナコロ舌苔。瘧生大細辛丸
二味玄清火。テロ舌ラヨウ洗テ。朱赤ニ子リカトコ

一方ハ鵝砂柏苟以上ニシテ生蜜調ム名ナキナト丸セ
ヤツクニドコロセヘコナ唐松。イエル。一里。香ビニヤ
ノフタメトコ

一方ハ火阿コク翁ノ細アリロラスケ如比久ノダムルト
心勞立古ノ生レ或ハ舌太脅脹ノ不食スルハ速一味ノ益茶
ヲ細、各ビラ生蜜調ノホタル吐出ノハヌエリベセヨ速ノ汗後
中入ナ心經ノ熱タニ速久シユルトリ

一方ハ鵝砂柏苦姜汁ニ調テスル剣病ナク倣。舌ノ上ヲ
リ血ノ流出来テ舌頭トニ提巻ク妙テ。主ノニナリカケヨ立信
舌上白半胎生シタヘ半濃ナ物イニニクキハ哉ノホラ。蓋調
舌上白半胎生シタヘ半濃ナ物イニニクキハ哉ノホラ。蓋調

テスルレ成。ハサウキテ胎火丸アヌク。其後漸密ノ

スルナリ。風行脇寒。寒熱有火の中酸苦し。柴胡調之。高辛
丹溪。四肢脇寒。寒熱有火の中酸苦し。柴胡調之。人少者
空+音+耳+。毫膳+耳+毫膳+耳+

後仲+柴+毫膳+耳+毫膳+柴+耳+
心熱ノコ苦クロ古。瘡アラハ。速大馬+相+耳+
解熱ノロ尊+ハ室+速大虎+貴+耳+

肺熱ノロ辛+ハ。三ロ+耳+。柴大+壹門+ハ。厄室+空+
胃熱ノロ敏ニハ。柴大+耳+。大+大+刺+一+大+空+
口中常+體ノスミアシル中道處ノ若食諸記ヤタキイハレテ
リ。口中常+無ノ底ノ食リ。柴大+大+大+刺+一+大+空+

期年

一つ古病ハ皆解。四日ノ起ナリ。中寒ノ葉又ハ。三黃丸。氣用丸
一。七月七日。音キ。散ア。取ア。陰子ノ粉ノロ。大馬。柴+耳
一。宝丹ノ用。内燃+サシヌハ。玉丹。ア。下ノヨレ

四十牙齒門

人面ハ骨ノアリ。骨大骨ノ主ル如上ノ斯ハ田中經ノ主ル丸也。リ
癌ハ腸腫風筋アリ。大腸ノ經ノ主ル丸也。ナリ。コラ同。風寒アタツテ。癌

刺牛

ハシタニロナリ。圓刺ハ奥ノヨラレス、腸管ノ中ノ横糸有
ス。

生半火解本丸、草々 牡丹ノ石膏。

前立ノ下アリシテイタニ。或ハ根スイテエルクハ骨ノ元より

度々桃々名解ト柏オ苦オ山草オ蘚解ト補土膏。

湿熱腸胃寒氣。時ハ經脉隨テ上下ニ走ルテセノエラハ年
ニテ千難。及ア土歸ハ萬達。苛 刺 牛 牡丹皮。

斬シテ楊枝ヲアリウコト血ノ虫ニハ首ウイリコタノ盐。子モ

新ニリナツ申シタマレナヘラハ吾ヘシ

ちキナカニ生ノ宣入ヨ。

一方ハ巴豆入タル紫ウ加サスル。妙ニ之痛ヤム。

一方ハ大也ニテ油ヲ飯ニシテ其飯ヲモリヨツテ箸ヲ油今

「アウ」ハ其頭ナ瓦ノ耳ヲタラス。大也齒ニモ痛ヘシ。

テ拔フアリ辛アレキナシ。サモモ又鳥頭草撥鴨竹砂礫

アル外、ミリ肉ニ即ナ西ノ。湿熱ノシナハ心ナレニシ。四々サム

一 千ト 茎ナシ 右手ノ苗ノ根ニスル
虫害病ハ漆本ノホノ合光ニサスベシ

治査

一 章ハ嘴ノ巣ヲリヨル物、息ノサキモ是ナリ

一 重苦ノ病ハ胸毒乳毒丁子世硝ニ松柏

ち薙ノアシニテ又吐出スベシ

一 ヒコノ汁ナ盐ヲコニテルノ大打クヘテヤウ加竹七度燒タル盐アシナ塗ノ根アスル

一 桃ノ皮ヲ煎メ含ムハ葉ノ細故叶ムシトヨリニキ

一 丁子 調料 广香 銀粉 朱 山梅日本ノハナ神ノ
ヤリ

一 葛ノ實ヲ真ミタ抹去アタキテ真上ニチリテ香ノ煙ヨウ

一 盆ノ上ヘ烟アシナムスベシ其後酢ヲ含ナリ虫ノ苗ヨリ出ルナリ

一 呼・通・膏・生・タリニ・井ノサキノアラ水テ呑ヘシ少内

一 息はて癸卯ノ書ナリ歟アリ
ヨリヨリ根ノトコロトコロナシトコロ

一 通・膏・生・タリニ・井ノサキノ通キ

三通氣テ抜タトニテ水ヲ呑ベシ
一 直ハ牛ノ角ノ粉 吉更 金鎖丸 右粉ノ呑セヨ

四十一 咳喉門

咽後百ヶ飲食ラサメア田口ノ脅、通スルノ道ニ喉筋
有ナ呼嚙、或ノ肺ニ通スル道ニ君大ノ心経ト相ナニ直ノ
經ト皆唯ナマト故ニ二火ノ食肉、二爵酒を食人唯ラヤテ
喉周ス熱上宣、客トノ咽唯ハ腫脹充々甚シ通セサルトキ火
丸唯麻子治スルニ針刺メ血ヲ止ムスラむ天井朱トス針ロツ
ヨク癰生毒ヲエテ熱湯ニ調テ火取細ハカウマシノヨクノ如
ハカツノヒニシテ、若シハレモシテ、トキヨトキヨトキヨトキヨト
亀脳ウシ白姜朧ナ妙ナ奈岐前ノ丸、名細羊ノ管子ノ
喉中ニ吹入哉ハ鼻ノ中モ吹入ヨリ、か跡又走、直ニ止ヒ
一古ハ白姜末、巴豆豆皮一粒ヲ四ツニワル右土器(白)に
合益精ノ肉、合精ノワヨナ舍モヨレ
一方ハ針利ノ血ヲ出ノ即丹答ヲナ吹入ヨ

上魚肝也ノ咽腫毒病ハ牛膚十伴大吉室丁小
大穴瘻本之疾大瘻ニ通之、大瘻ノ瘻口運ヨリ雄黃スル

薬蓋ワタマ 白シロ 皂角サクナム 面マスク 素スル 木キ 木キ 里リ 薙ハサウ

福丸ノ奥裏カミ 中ハモ 入エ

七情醫セブウイ 結ツクシ 氣キ 上アシテ 烹ヒ 物モノ 有アリ 呂正ルソン 下シテ フ
大吐オシテ 出スル ウツヤシム 是シテ 氣鬱キモト 痘結ツクシ 草ハシ 兵十ヒンヂ 貢タケ

卒ハシタ 耳アリ

上直アシテ 断熱スルヘキ 咳喉カムホ 腹痛ハラモト 酸味サンメイ 茹梅肉シウマイ 也合エガ 銅包コウハウ 合ハシマ し

清套キントウ

一 咳喉カムホ 二 胸痛ハラモト 三 呼吸塞ハラマツ 四 咳カム 五 散ハシマ 血クモリ 六 通活熱スルハセキ 七

性セイ 亂死ランシ トヨラトヨラ 古コトヤマ 生物モノ 有アリ 是シテ 治ヒ 亂死ランシ 先風アヘン フサリフサリ ノ

空ハラマツ 連ル 空ハラマツ 金カネ 右足アキ 用熱ヨウセキ ハラモト 胸ハラモト フサカルフサカル ノアキ

急ハリ せゼ 生度シナタ 加カ 入エ 热ヒ トト 七セ 入エ ヘヘ

一 咳カム 二 血クモリ 三 血クモリ 取タケル キキ ルシ 「タ様タヨウ カキ針カキツバタ ナカキ

手ハハ ヨ活ハシマ 一 真後マシタ 耳アリ 虎ヒョウ 二 空ハラマツ 連ル 空ハラマツ 三 真後マシタ

一 舍茅カモ

药棉ヤクミツ 霜カモ 吉ヨシ

益硝ヨクサウ 甚硝センサウ 胸吞ハラシム

皂角サクナム 連ル 空ハラマツ 拇指ハサウ

色カラ 咳カム 二 伸ハシマ 三 伸ハシマ 一 伸ハシマ 二 伸ハシマ 三 伸ハシマ

一 咳腫カムツウ 二 咳カム 喘ハラマツ 三 咳カム 喘ハラマツ 一 咳腫カムツウ 二 咳カム 喘ハラマツ 三 咳カム 喘ハラマツ

失音シスイ 大眼球カクソウ 唐突カタハラ

一 吉ナリカキ半身ヨシ

一 咽口中ニ瘡出キハ 五香湯又用テヨシ

一 吉ノ上火ハロノ肉、瘡出キタハ、吉茶、升柏、燈粉

一 吉ノ上火ハロノ肉、瘡出キタハ、吉茶、升柏、燈粉
桔梗ノシ、吉ニスルヘシ

日本二間前、哥西門治金ノ主ニ

桔梗ノシ、吉ニスルヘシ

脚弁

一 咽喉ノ痛ハ、寒熱ナリ玉丹ヲ下スヘシ宝丹ヲ内熱ナリス

一 龟胞ニシテまノ唯々吹入サナリ

一 咽魚ノ背骨クチニルハ、常山桔梗葉尾、ヤギ水テ用

脚脚

一 四十二 瘰疬病門

一 治法ノアリ邪風ト衛丸ト相戰テ癰疬生改不爲ナシ

一 脊柱好ニ瘡出ハ腰椎、腰椎ノ瘡出ハ腰椎炎也

一 腹下リ筋充盈流ゼヌ終ニ癰生、脉浮太陽ハレウツ登スヘシ

一 脊柱好ニ瘡出ハ腰椎炎也、吉ノ耳、も董ノ梓皮、火ノ茶一

一 方ハ荆子昔ナ白芷地大、右手ノ蜜丸ノ是ヲ用ヒ荆子

一 重汗ナアリハ、退下ス則甚白ノシウツフ食シア

一 外衣ヲタサフアズ、火丸熱、右手ノ行ラ出スヘシ

一 方ハ荆子昔ナ白芷地大、右手ノ蜜丸ノ是ヲ用ヒ荆子

一 深薄ナ火丸ノ行ラ出スヘシ

一 方ハ荆子昔ナ白芷地大、右手ノ蜜丸ノ是ヲ用ヒ荆子

半々右半ノ毒眼タニ 異本・體同アリ

第

卷

之

陳皮葱白ノ薑汁ヲ調服し行止ルヲ度トス
脈浮ノ中、ナセハ力有ア流シシテハ虛火ハ經脈ノ中、元惡爪
ト知ル(シヨリ)治スレハ毫クニ撥腫スル如フ針サレテ血ヲ出ヘレ
亥毒中ノ充ラサレテ血ヲトルヘシ胸ノマンシニ先キ サムナ

舌生半太六半耳、熟半火 右半ノ蜜丸ヲ用テ脉

少癆病ノヨキサホシテ、脉弱大汗ナハニセモ此後

一方火毒治火行止す。右半ノ蜜丸ヲ用テ脉弱ま
其病は尾をシト。此時ノ食生亥ハ癆病加勢イテ以後

脉弱弱ノ血熱ノヨリハ脉虚火アリ

脉弱弱ノ血熱ノヨリハ脉虚火アリ

脉

大瘧病タヒタハ在上在下、分別ス(シヨリ)アリ

アリ

脉

元瘧ハ下アリ血熱共ニヤム上下共アリトシテ脉虚火ア

脉

滅血ア血證ノ中、トルベレ 半夏子胡、蔓荆子、枸杞子、

白芍藥、苦辛桔梗根、苦杏仁、右半ノ胫移入合散後

アリヨリ真ヨクシ止ミ。身ノ晨牛、腹ス如此七日ソ必ハケモノ
ハルタキ半大便通シテヨリレテ、大便通シテヨリ

便

下り瘡瘍アシ思物坐候ア大便通聲直不まへし
金
色角利ハ大黃、白朮、桂、右三ノ一服、三日即効
酒ヤキタニ暖スベレ日ノ申心事物下ルシ或ハ血ノ止マリ

四五日アヘタニ入用ベレ

大風疎眉皆ヌテ皮膚多癰、眼目枯リシメルハ白朮五分
碎スキトシワニモアラキサシヨキ酒ミソニ浸メ一篇、
酒アモリ折波水天目ニ玉盛テ皂角ヲセシ洗ノ羅テコ事
ヒ人美ナゾ計ア五十ナテナリゾノ吉日トナス、若幸ノ本丸面立
地至白地ニ地主酒ミシ復波ノ貴ツサリ、肉ノ目、ホシチ
眼又ヘ三日ノ後風呂ノ行ア行ア水ス青如火サホアニ風呂ノ行
汗ア出スアニ二度カエト身メナラルアリ、鬚眉眉直生ト腹席
潤シ眼目シ光ヒ明モト加タニ丸ナリ
瘻瘍アフニ小瘀瘻イナキナラリヤハ、浮萍アタリ
瘻人ツク脉實ノ大便ナワナ船せハ皂角ヲ少ノ大ニテナカ
ナヌヤヤトヨロシ日本ノ每服ナ大黃ノ並湯ア調下スニ
火ノ火人洗茶
大本葉
荷葉色角利
酒

右上體晒乾さう傳す在しホ、温湯に浴せテアメ、沙丁頭

面及面部擦摩アルルラアフベ

一方ハ掌ノ根ノ反屈ア熱湯テアリ、タレテ面リ洗ヘシ或ハ麻疹ノ元

風邪のリ洗ヘシ

極寒ノ傳アリセ病、治セシ正月、未ヨリ二月、三月中旬でテ、ハ
ウチ頭ガカニ万物発生、時令ナリ、依テ諸病發、蜂起也。此時
曾々トヨリ治スヒハ某力ナラモセイシカクレ無方別ナル者ハ某故増
長シテナウム。故ニ二月ノ未ヨリ諸病取治スハ次第モニ驗也。
是者ニ此病ヲ治ムハ多一弊物肝毒モ有後之面溼、アリ可

高麗方

リソシヘシ

一、癰病久々血寒熱ノ燒シ凡尋、依テ虫丸生入心ナリ。

一、玉丹テ十日ニ一度ワ、下ノ宝丹、用テ氣血ノ寒熱、サヌ

ベシ大丸ノ用テ虫ラコロス。

一、滑石散、テ血ヲ生スヘシ傷詳、別录、アリ別子也。

四十三 常人門

夫婦ノ病ヲ治ムアリ、留メト一同)下云(瓦ナカハ心モナ有

婦人九人ノ男夫六九人アハ桂木精擅ノ病モシヨキツナ人ノ

經、達ノ婦人病、治ム大半氣散丸、剝奪率ク用、政道ハ

降氣散丸、剝奪率ク用、政道ハ

坐婦人ノ仙草トヨク。此道理、會得得。諸病ヲ治メシ故ハ
量多ニ久リ。氣ホトキス寒志毒ノ故有レントンナリ。或ニ娘
也。懷孕ノ時、胸中ヨリ、邊上ノツイ、煩渴スルモナリ。如城、懷孕日、
月ニツセリ。重テえ。財ノ煩渴スルアタハサヘ。經鉢漸済ナ周
經次第、水もナリ。或ハ白遠ト成テ、瘦裏アケノニ、虛熱勞瘵
ト販。然間婦人既寒暑渾ノ類ノ外邪ノ累。病ヲ療治スル人
凡胃主^ト同上^ト。七情内因ノ久病ヲ治セハシ。降氣散丸
ノ坐令ヲ加^シ。

寒外型ナ。ナキノ。痛丹火ノ不同。赤白帶下。懷性產ト
婦人。亦強姦病。モクマトフフニキウリ。寒熱ハトアカリシ。
而イカリ。胞中サレツク。不食スルハ。既ヒ。既ヒ。而ナ寸脈法
脉ノ尤ノ圓弦。寒丸物ナリ。

口科流丸飲。苦大空^ト。奴^ト。柴^ト。音^ト。加減ノ別義有。

赤帶火ノトキテス。脉法枝ナハ。赤白^ト。甚^ト。百十草^ト。敷^ト。

移木^ト。木^ト。ヘシ。或ハ陳毛^ト。灰^ト。加テヨレ。

脉虛細ノ動枝ナク。赤^ト。甚^ト。散葉^ト。ノノマニ^ト。

白帶火ノ止ラス。或ハ銀白^ト。甚^ト。腹中^ト。白汁有^ト。脾ノイタミ^ト。

而^ト。色青^ト。脉弦枝^ト。甚^ト。土^ト。甚^ト。甚^ト。

甚^ト。急^ト。危^ト。永^ト。

ハ煎玉ヲ用子時、白人知、赤鳥^{トマト}大根^{トマト}生^{トマト}、赤鳥^{トマト}加^{トマト}ハシメテ、
赤白帶下ノ上、ヨコリサノ右テ潮熱^{トマト}ナシ手足^{トマト}未^{トマト}年、唯中^{トマト}ニ、
赤白帶下ノ上、ヨコリサノ右テ潮熱^{トマト}ナシ手足^{トマト}未^{トマト}年、唯中^{トマト}ニ、

脈^{トマト}動^{トマト}枝^{トマト}アス、末^{トマト}生^{トマト}草^{トマト}、赤鳥^{トマト}加^{トマト}ハシメテ、
股^{トマト}脇^{トマト}、腹^{トマト}聚^{トマト}有^{トマト}アス、痛^{トマト}ハ救^{トマト}、桃仁^{トマト}、牡丹皮^{トマト}、類^{トマト}、蓮^{トマト}葉^{トマト}、
紅牡丹^{トマト}、元^{トマト}セ、類^{トマト}九味^{トマト}、用^{トマト}ヨ

本株ホトトクタマリタル古血^{トマト}ミラル、アス俄^{トマト}止^{トマト}カテス、桃^{トマト}
根^{トマト}十斤ハシメテ、牡丹皮^{トマト}、類^{トマト}、サゾイ下^{トマト}ノ真核^{トマト}、赤鳥^{トマト}
加^{トマト}ハシメテ、白木^{トマト}、地^{トマト}糞^{トマト}ノ散葉^{トマト}、テ攻^{トマト}弟^{トマト}、トム^{トマト}ヘシ

帶^{トマト}アス痛久^{トマト}アテテ^{トマト}ノ腰^{トマト}ノヘリ、瞳^{トマト}丸^{トマト}出^{トマト}来^{トマト}ハ、年半七
月^{トマト}少^{トマト}、頭^{トマト}痛^{トマト}アシテ^{トマト}、腰^{トマト}痛^{トマト}アシテ^{トマト}、赤鳥^{トマト}加^{トマト}ハシメテ、
ヨリニ跡^{トマト}アハ股^{トマト}アハ血室^{トマト}ノ寒^{トマト}レタルイハシ^{トマト}、赤鳥^{トマト}蒼奴^{トマト}ノ類^{トマト}
若^{トマト}シ^{トマト}、モニ^{トマト}赤鳥^{トマト}、末^{トマト}間^{トマト}モ痛^{トマト}アス^{トマト}、後三日モ腰痛^{トマト}アハ血
虛^{トマト}ノヘン^{トマト}守^{トマト}、竿^{トマト}、赤鳥^{トマト}、生^{トマト}、圭^{トマト}、類^{トマト}、用^{トマト}テ、血^{トマト}ヲ補^{トマト}
用^{トマト}シナラ又脈^{トマト}ノ遲^{トマト}救^{トマト}、ヨル^{トマト}ヘシ

月水^{トマト}イク^{トマト}、セ少し右^{トマト}頸^{トマト}テ、上九ハ、白木^{トマト}也^{トマト}、以^{トマト}蓮^{トマト}ミテアキ^{トマト}
食^{トマト}豆^{トマト}、飲食^{トマト}ラス^{トマト}、蒙^{トマト}得^{トマト}アシ^{トマト}、ク^{トマト}ノミト^{トマト}流通^{トマト}ス^{トマト}、自^{トマト}ラ月水^{トマト}
ノ候^{トマト}、ナス^{トマト}シ月水^{トマト}アシ^{トマト}、^{トマト}斤尾^{トマト}、紅^{トマト}赤^{トマト}、^{トマト}蘿^{トマト}、^{トマト}蘿^{トマト}

室幸

月水ノ色也色タコクノ黒々ハ經書邪道

都百達敷

月水ノ色アラリ、ウスクリンガ、未ルハ下生、温邪アルカヌト
血瘻ナシレリ物、未温邪ヲナリ、行其主、類ナ人血

ヲ拂ヘシ

ノ

毎月次身ニ月水通り十日六虚冷ト毎月次第身ニ月水ハマリ
夫心血熱シト近キテアシニテ寒ノノ上評脉トテ者ノ業ノ用ヘシス
脉モ平病モ平人懷性人ルトキモ子太ハ真寒ノ立スモ
多既モ治愈ヘカラズ、文ノシテトキモ、未モ其外ヘ瘡
瘻等其相傳也、其外ノ如也、此ニ種ノアラクミノ義
體ヲタキシニイカセロフ妙ヨシ、空ナ以上三種ヲ九ア幕末ト
セヨトキリ乃至一年年モノマセテ空ナアムナリイカトナムハ
或ハナ生瘻レ解帶弱ノ食支カイナリ瘦死ノ者又ノ遺棄、本
丸袁弱ノ術仕ノ經脈寒ニ采術レアリ月水ナクハラマスハ、本
寒血ノ補益レ術好脉盛ナリ日水タクミトアズ心懷外久
俗風即フヨリエニ經血瘻レタル故ハムナシ而ノ温热調神
本ナアノ用テ邪熱丁度レ、失レ元氣ニ筋肉脇筋結レ或ヘ

寒熱但未し矣不食し或は月水の滞す腰血脛中か多フル

皆是医者ノザナリト云氣、心エヘシ
婦人血氣鬱久ノ日久帝ノ加リ脾留性シテ飲食ヨリ進
止テ懷妊ナキハ或ハ嘔子ノ胸虚ニ元氣弱ノ居豆ツツシニス
ヨリ精神虛薄ノタコトナフヌシ是ニヨリイカニモ居るヌナヒテ
胃氣先氣ヲ盛メ而リ脾留ヨリ調テ飲食ヲスメハ一日ノトモ調リ
精丸ニ調テ懷妊ノクニト處ヘシ又胎ノ下四才ニ食セヨ

懷妊シヨリノ後人數月度テ流テ終リコト歟ナグハ
養ナテ食ノ筋氣ヲ通ケ空テ虚火ノ發上ア清レ奴木ナ

ノ精丸大藏ニヨク草ツナヘ血壓ヲ補ヒ如姑服記ヨク令別ノ
茶ヲ角テ三直ア流通シ脾留ヨリ月經常ノヨク有テハラ
ニハ流ナ直マラス

腰悶 夫懷妊ノソリスルア人ニ依テイク日ア定メテソ
ソトツハモアリツヨクツハセ有其証ハ脉平ノ顏色ヨク手
足ヨク頭童ク目アト食物ヲエテと食更ニホイライヤア
茶湯ニ及ソリノ痰水ヲ呑吐シ不食スアルカリソリツツハス
トヨアスノ本ナ貴士立門大伏ナキナ・舊ナキナ・草ナキナ

イタムノアヤラス 情姓ノ人筋より 動脈脛シヤスヨラス
ナクハセヨ其脈証、ヨレベレ

衛体經血虛し胎氣ヲ守護スルトカイテキ、骨、折心、
尽し万ト萬物ヲ食し風寒、アシハ少胎氣莖ノ裏胞血毛物
ナリタラく、情之

下血大痛極、寒熱ト争ヘ脈ノ運移ヲ方別ノ某ノ用、熱六
生半ニ剝十筋、空ニ赤ニ十冷正ナフハ、南十阿膠十
升十蟬壳十、里本腰腹助腰ヨウケイモ、薑羣、名葉等、香附子
本ガ生豆シシヘシ

血吐子ナ、生姜ニ耳タク、頭面人也ナキニシヒシ、加木、白
桔梗、細鷺、驚キヤスク胸イキレニシヘ不食之、淡味ヲ吃社入

八夷門ニ莖莖、付生、黃中、耳
懷妊ノ中風ハ、未ナ、獨中、里豆、白桂、石薑ノ各サマ、

酒ク、汗源ツタブミト入テノアゼヨ
懷妊ノ瘧疾、懷妊ノ泄痢或ノ溼脛等ノ病ノ治しアツク、其

莖ヲゆき下す、但レ龙楊ノハ某ナクヘシス、ヤハラクオル

婦人懷妊ノ既、虛月ニカリテ、藏有病ニリナリ。腹節モアレ
故ヨク暗臥ス。ヨコスソロク、行歩ノ腸中ヲクワロヤメテ、
アシニ血氣ヲ流通サセシヨリ多ク酒ノノラニ毒、キニ、杏子
浦シヨリ食フ忌ミ矣。針灸ス。ガラス、薑蜜田心ス。セラス、人高、全
サセキテ通ルベカラス。ソヨク根ヘカラス。折柳ス。カラス、上重キ物リ
アリ。アラス、夙寒ニアメリ。半足ラニヤス。カラス、尻下管ス。カラス
既、虚月暗ニシテ腰イタムト云ニ腰フヨクイタマスハマタシキシ
然ハ手ソリテ座敷アリ。アリトアリハセヨ。腰痛ノ伴ヤカニ。既
腰半アルクゼヨ。加振スレバ、胎肉クソキ子立リ。生ル時折節
既、腰半アルクゼヨ。胎中ノ子ヲ抱コロスじ又甚也。ノ病ニ
ム時、母子トリセントモ故ニウツブキトシニマヒニ。子半足リス
故處ニ拘束キ。足生スルモ。其間ツヨク痛ニ暗ハナラニテ、ア
ヒモチヨリセサル間ハサモイキヅム。アラス、子カーリノ子ノソブリ
産ハニタツキも後半廿日トテ、腰クタギアケテ一拍子、触
イキツマセヨ。如シノナモラツク。值生ノホノ春ニレ若ヒ子カ
タマニア胎肉大ク破。難産出未スル。腰脅人ノイヒニ子
タリ。ソシタニ産虚月、脚白皮。冬薦。

右キリミ薑ノ名ゼヨ。破冰多アリ子アリセス産シヤタ久
為ハヤシイキツヒ破冰多アリ子アリセス産シヤタ久
白芷 白芍 二味木食木ノ童便ト羊ノ醸ト合熱湯ト合
テ粉末ラニカキタテ名ゼヨ其後又 茜子 檀白皮ニミ
不食羹ノ 治石木 雪母木ホ食合セ丁外右ノ煎けナ
用ヨ

既ニ過產處アニ三日セウマレヌスフヨリ冷ニアヤリ陰戸

小腹ニ胎血ヨリ滌アウマレスハ 生大行ナ 紅中未脫ナ生雀
名ドテ薑ノ酒セ入アタマカノ合セコ若半足ニテ脉モカイ
過產秘方 大地蠶全 蝙蝠全ニ附ケル右室

治石膏 薑ハ右細末ノ每服十粒流水湯テ用

胎衣アリキニアノムレアリ子生レラチ心血胎衣中入胎衣
ツクシナカリヌモアリ遯ク治スレバ股中腰滿心後痛癒シ喘
息スル者ハ治レタメレ

人體化婦人カラ尽レ精氣ヲ苦ノアイキツヒテラサラト
疲ヒシテ重テ胎衣ヲイキツミラワスキ學ナシ故產門
風ノヒキ胎衣ノアル道ノ血汗流故ニ自ヒノメニアリヌキリ紅
雀キツヒセテアラロニナリヤアセテヤスマセテツケテ即

卷之二

附子 うね

毛曉良ラツクノ胎ハヌ・牡丹根ニ勝ル。附子 うね
各細キノ虎。

三時キテハノ温酒ヲ呑セヨ。奪命丹トス。

難產ノ惡証身ラモリ休熱ノ又休ニ。古ドノ筋音量古。

シニエハ必死証。唇口青ノ疼痛ワエク人中生。絶し暈衝
子ノ騎。子母ニ死。舌赤ク。面白青ク。ギリ。疼痛。

暈衝地ノ胎氣ヨニアル。証。子ハイナ。母死。面白赤ク。舌青ク。

トハ胎中。テ走セリ急。治セハ母ハイベシ。

衝ニ産ノ胎酒。ノレアナヒヨレ。寒大強急ハ凶。況細シテ。

食カタナ。脚カヒ。化皮ヨアレ。ヨレオエ産リ。食。トトトト。トトトト。

新ニ産ノ即養生ノラモムキ。夫シナラウミ胎衣ラリス。ラ

小便ク。天日。セ分呑セ。目ヲフサイテ。座ヌ。レ即ナフサレムベ。

タヌシハタク有アヨタ居テラ。フセアヨク。高ク物。ヨリカワリ。

胎ヲキテ足ヲ伸ヘアヌ。頭ニアツク。紳帽幅サセテマハタヨリ。因

シノヨカヒ古血。虎ニヤウスル。三日久シ。子ヘレム。ヤニスアリ。

子ヘソリムト。暨ソテ産ノヨリ二百ノ間ハ。虎ノ太。醋ヲケラ真

正ハ赤血。上邊ノ燒ヒシカ。サカイホリ。目。耳。氣クトリ。火。

吉ノアセリ。セリ。或ハテ胎ヲアスク。碎テ。舌焼シ。テ其舌クカセリ。

ナセラレシタリモサワニスアリテ白鱈一味ラスルクナラ
フナクヨキロノノクハセヨ能カドヘヤラヌタマヒシヘンセ吉
新産ノ二日ノ間腹痛アリ死ナシ既而血アリテモアヤラヌ既
重便ラサツア湯ナキモセラ呑セヨ三日入キテヨリ後ハ童
便漏タママセテ各セリ毫角度ナセヨ八日ノ間ハ少ヌ童便
アヨヘニ此日過テヨリカツア味噌ラノハセヨナラ盐漬ヘニカ
セリ過テホレヤラヌカア酒ラキヨリ百日過テヨリノシルイリ
タセヨ早ク用レハ腫工病生ヌトキ夜太ヘコ病ナヘサシム
産ノ三日後再熱レ頭痛レ胸中、氣サレニ物ハ乳根ノモ
ヨリカク有病無病同裏、外物トナシテ治スヘカラズ
虚後ノ無事トア血アカリ同ニシテノ氣クトリ失フ、ニアズ
アリ、
同ソツエイ氣火ノ量スル時今ナシ難シキ生半
升セ堂、耳ヲ上並ノガク用リ喧詮ヘルシヤス人室
清血補ナヨレ血ナシ下ア量スルハ人參ナ辛ウ生
物ナマアリノ胸ツクノ量スルハ澤北國大刺ササナ細
丁立身ノノミ血ナシス前ナヨリナシテムシ血ナ

仰産後氣結寒。世五日間六補元散トニ。首支
全氣耳ナ。右細辛土テ耳ナキニスケミスケトニ
ノセヨ。身寒。腹寒生ト脚ヒムラ破ヘ熱アアマク用ヒ血トシル物

一月ハ寒ノ中。心アドノ脂ア里焼ア細辛ソ耳ナキ一レツ

リ。各スルトニ奇特氣ヲツクル物ナリ

產後。风寒アアタリ。惡血ハメトトアリ。寒熱ノ人コトノ人無
邪血ア通。アタヒアリ。單物タリ。物アヌ。活血湯。味ナ
生サム。行凡ト。今ナ耳ナ

產後。氣ノ弱。依テ經絡固。血脉滞ナリ。重レニ散火

本ナリ。方ナ耳ナ。不不共。右生姜タ入テ並根ス

產後。後頭痛。嘔。欬。渴。四肢浮腫。數皆療治。考究アリ。

牡丹養血丸。赤白。牡丹皮。生甘。延胡索。阿

善。芍。初產ノ乳虧。多ナルトニ。乳汁多ナ。風熱。經脈

シケク。瘡ノ多ナ。チシムナ。人產ノ乳汁少ナ。津液

少。故。行ナ。苦ナ。枯。根。生門。耳。根。津液

少。枯。根。生門。耳。根。津液

乳に付く事無く、或は、粗暴に取扱ひ
スハセヨ。實ヲタマフク人也。鶏ヲミ取フ人セヨ。
産後、ヨウノアリ出テサクフスハ、洗竹ノ草ヲ、草ムカシナム
洗テ、五倍明石一味、アヒナリヤケラソロヘテ、シ入ヨ。

一方ハ、小豆キ葛根白ウ薑し免け、或は、五倍明石、共ハイシ
三種ホツモキ多陰火ヘアソロヘ洗テ、イヌマウカシ入ヨ。
上外產後ノ癰病霍亂酒湯淋松結道尿緩腰痛
諸病普通ノ癰病ホルトナリ。但し、產後ハ、氣虛し、聲乱故ア
外邪ニウヨク駆逐スルモノアリ。而して正え、拔耗、失神病、
溫熱及肺病等、レントモ、氣虛不全シ、血行不順シ、血通不順ホル
解呑調査ノ食、スノ留目ノ久ノ生エリアウレ、下血ノ陰火
補し、結法セタセタ、下血ノ陽氣カノアリノニ便芸シケンノ
タモホツモアリ。下元ヲ温補スヘ

湯套

一 女客血通タカイ千瘍、血之物ハ、氣隨之)トギラワ
シ結ル、血通冬ヨイ一切病トナル故、タメア調(血ア
養ヘリ)
一 血道タヨイ回アリ頭モソリ、病ハ、手足冷アリ脚冷
チ秋涼ノれ、セウイ在セ、雪カラス、火、沈香名堂連室方

赤々半ち芷耳右裏内

ナガシテアシ股ナラ核サレヲリウ子四物湯肉

今陳董耳伏枯名根右董ノキシ

ニモ煩ノモトトタク方ノ煩ニ今此广董耳

空苦葉壳董右董用

ニクアラヌ葉牛七和虎巴三耳故苦壳

朴子添附子鹿草右九牡丹皮前赤し足ノ角ヨシ

後牛ゼ根ソリテ降一束牛物ガ舊白粉ツ味付ナニ本

人赤毛帶下人血草苗香ス竹子末朴蒲

赤白苦苦子右丸ノ用又苦葉ノ前用

赤白帶下見苗ルヘ四物レヨシ

赤白帶下止止止赤痢止草又ハ止血十トフ止

勦子

婦人ノ痘ハ皆血ノ虛冷シ何ノ痘凡見令スハ先フ四物湯

產前產後諸症アリト立大東人皆血ノ虛冷ノ延シ

夢根一茎ノ活石ニ辰砂ニク周ヘシ

難産・松葉・棺ノ運ア石ナ打シメト候事入

重ハ用驗ル一度ナリ。大抵

一 難産、弓の湯、附子ヲ加テ前歎け、テ治るンヲ用ナ

一 産前産後小便トマニト下り脚・骨ルサキ加替申様ノモ、
糞ノフリクミキ室舟、單蓋、ヲ加テ用ヘシ。小便通スル

一 難産・土壺ヲ持ルヲ口傳スベシ

一 膀胱指掌、白丸ス、鷺サキ、指加苦申

一 小便不通、胡ナラヌリニ用シ妙

四十四 小兒門

人乳丸太ムニシテ伊イタキ外附異常ノ事ナシ。左ノ脚ナシ。

オイテ後ノノヌレシキリケ小瘡イテクルニシテ俄、童スルト
ナスハ宜ナニ味ヲヨクキモノモナサユ。カキカラニハヤクシセヨ。
其後ヨク水飴ノエリタル辰砂ナフ蜜、ナトイテロチナシメ
リナノマセヨ。一生ノ間ノ煙疹ヲアヌカル

◆ 小兒ウタレ器アイクアナフノ氣結ノ瓦ゼン・スルハ唯座、モマナ

ノトカラ胞衣、角化胎ノ帶ノワタアシ火煮胎引股入テ
酒東、火邊テ息イツルキ昂湯ヲアヒセナテ胎ノ帶ヲ断て
小兒妻ニリ肉勝ノ事ナスル所リヨリ凡温入テ、多セハ唇瘻、

ナリ體コワナシニ様コトニモ況ノ當初、寒粒ノ如ク白物事
而キノ鳴鳥也、鳴主はサルナリヤハシカナルナリ。指ア
色ナスル。渴ニスカレ甚計、寒粒ヲソロヘスリヤフ。レ白事
委ナシト物ナキノ聲、調ナヌリヤアリタルアト、付ヨ丘故、殊
セヨ。圓穴物ヨリ風ノ入ニマウ。用心シ小便ニエレタルム。午正五
ノ上、フキナ物ヨリ満氣ノ入ヘ。イム小兜。乳ノマスルハハリ。
タニ乳ナ先サドレキリコネクサナリ。各スヘシ乳母夜子イヌシ
頭アリニシナ。ナナメ飽湯。胸ニウナル物シ乳ノマセテ
物ア跡タヌ。手足物失セテヤドテ乳リマヌ。カヌス。脾腎ニヘリ
。腰痛ナシ。腰トヒムトカリ根トナリ物ナリラヨリ是ヨリ初
小兒ノ驚風ニアリ。命別アリスモ。者ノ病ニモ知れ共ナキ事
無驚風ト云ハ無也。生ノれ甚則。癰生ス疾盛ニル。則。風
ア生ス時赤色ヲキニ倉歎。生啼ナケブヨキ。雀鳥テ急驚
風ト在ニ面者クコチクヒア足冷カアル。手足ヲヒクソクレヒ
タシナス大元ノ如レスヨロク時身熱し面赤ク咽クキ東等
領驚風。毫虎舌。危。行。芸者。本方。外。利。右。左。右。左。
右手ノ掌ニテ丸ノ件董。湯ヲ化下ス。

一方火天竺セヌ。腔板ナ吉堂。不宣牛ナキ。右ナキ。

密丸ノ等々行入薦針子食乳ノ後ニ用ミ
慢驚風ト云飲食節セサルヨリ眼冒ヲ掩傷了浮吐ニ
日久タキ直ノ元氣高リ虚メキ足フヒクアシ而ナヌ、ノリ
シテモイリテ暗ラアラレソラノカイラスレ、身ニロ鼻塞ノ息
ヒシ筋ニキソルアルシニ便吉ノ白キ、今申賣本
耳ノ半ノ附子地本番ト玄天帝星半地本ニ、時猶
右キサモ薦用又生姜ヲ加テヨレ

凡驚風八十生ニ元慢驚風八十克一豆

主驚風久熱ト疾ト居危故、大ヲ降レ疾ヲ清九丸茶ノ
用シテマレタクトテナシナシニシテ

慢驚風ハ腰痛腰引筋筋多ハス治ハ半豆ヲアタシル前
革

主テ神ノ安レスルノ丹半ヲ送手ス

史小兒生ヒナ御ナヒ血氣半道ニ及陰陽あ和ゼス藏府モ事

アヤラヌ音節ノアヤリモ未ラサシナヌ蓋(シ)ミメナシ
テ後を全ク調ヒ最府ハ妻、依テ全クナリ胎土母ハ妻、依テ

子本食ヌ是は血脉ク長シ智志(全スト)使シ又三十日干トノ共
加アリテスルヲ以上十度重道ノ三百廿日過ル則ヒ最府全クレ

ノ浮木人(アヌ)ニキニナシモ喜リ、全般

折し發寒嘔吐腹裏寒戸モノ

人ナ白身十日基根十日細黃右葉服
若寒過ノ折節發寒嘔吐寒戸上唇ノ中心
引退ノヨ白毛ノツブニシ是寒過ノ証也。广量ニテ玄節
虎ナ吉メ右三種草春生ノホナツウシキリ。先湯ナ吾セラ温
暖病ナサ行イテベヨシ

虎鹿口ノ後アミルトテ雪ハ左女有キノ人サレ指ノ股ヲ見ヘシ
人節クノ風圓トニサササリナキハ無ナリ下にハガニキ止痛手ノ筋
太股ヲ乳圓トス即ノアルヘテモキ痛モ莫治ヌヘキノモ三ノ筋
脚腕ノ筋間トト高ノ筋高ニシテシ

腰頭一筋ヨリ大筋ニア即モ救事ニ直ノ腰ハ虎口ノ三筋ノ筋

腰主部太健シ近者ウ一筋ノ腰七八至フ至トス。ナ骨ヨリ一
七最底コト。重子トニ一筋ノ腰ニ至テノ平トス

虎口ヨリトキ多ア節諸通節尾ハ諸筋ノ健トス。足二丁

位肝脾白疕肺癆芙蓉ハ脾瘻也。繁通也。繁瘻者
人治療色參ニリ全圓青黑ノ段アズレ三間也。有石

鉢入治スヘラカ

大少陽之症病生アス就無事。呻吟之者ナリ。刺怒火也。

解留ノキ

拉體也。冬々吐津が下道毒草治中直。拔耗也。外感
内傷也。正氣也。食數少。手足浮下。行終。中直ノ津堵也。本
口にテ肉、虚證ヨリ外、肌肉消し一義虛入時、諸酸皆弱りテ
其体内、レハ胞也。取脈大便色不定也。津ヲレ矣。嘗目也。
次第シニヤスナリ。其病外、乙ハ鼻ノ下垂ノ煽也。白鼻ノサク
イリイ因アムカシカリイロイタカル物。上部ニ瘻有テ。物アリ故
第も。耳ラメタラ瘻生スル。凡ノ瘻。痛也。肉津液榮血
不足外ハ、肌肉消瘦也。而モ虚熱生スル也。大人ノ嘔瀉也。同耳
病ノ川也。之アリ。子也。嘔瀉也。此也。一脉也。最也。津
正氣也。肉津府也。大直也。胃津ノ節也。トテ也。先上生也。小也。病也。
其心也。心也。舌也。汗也。高里ノ意也。ハ乾タシ熱血也。カサ
其心也。心也。一說也。兒ノ病ハ大病也。後喜也。未也。日也。虛也。
液也。口也。生スル也。イリ歎也。ノシヨナキ飯也。此也。土也。端也。
肉経也。口也。肥也。食也。大肉也。熱也。大口也。平也。食也。六中滿也。
口也。吐也。浮也。出来也。モ替也。食也。二也。レ也。小也。乳也。母也。一切食
立クシムシマヌヘレ

肝薄ハ白腫積アサイナリ。暮。周。一。五。

手

臂薄ハ而蒸熱也。身也。坐也。坐也。坐也。

坐也。坐也。坐也。坐也。坐也。坐也。

坐也。坐也。坐也。坐也。坐也。坐也。

耳也。

耳也。

耳也。耳也。耳也。耳也。耳也。耳也。

耳也。耳也。耳也。耳也。耳也。耳也。

卷之三

芒硝

大黄

甘草

诃子

肺癆ハ体更、腹大、心ア土ト食ス 貢大 吉十 詞大
車下々 下子ナシナ

母ヲ傳カ

胃癆ハ極メナヤセテ鼻、瘡癆生ス某ハ肝癆、同レ

諸癆フ治スル、速

毫胆青枝

望

胆

心

脾

腎

肝

膽

調連 松鶴乳 史君コ木吉 五 丁五 柏 三雷九

石枝 蝦皮貝モニアリノ右ノ肉見金五太繪ラキノ各

ヒツクノ頭大、治大、掌白矣矣半本。六十年

共

共

共

共

共

共

共

毒々空、右此内、見今ケ其社、隨テ毒種大食、羹
筈ノ合セヨ。

塵熱アタソロミト退ク津液スクナク次第、榮血津液生ス

タク調一浮レヤスク、肝曲リソ調ナトニマウレキカイナリハ

今、毒ノ頭テ補ヘ

一方ハ兵枝我音藍葛ニ雷丸鶴乳干膠

石丸味大食、手ノ頭ノ糊、ナクセウタ湯ヲ送テス此頭ノ病

手、毫革粉等ヲハ食後、落キ水用ヘ七時ニシテ中止

小兒瘡瘍病、母脛中、尻に膿肉の血穢す。其肉を包みアト
生え毛脂口の肉、舍外ノ西上山中、呼クナリ吸ソシテ腋中ニラサ
アリ。日年カクテアル。或へ最大太過ノ熱毒盛、リユナル。此瘡
毒セヨリサレテ發スル心肝脾肺ノ四臟、出テ四月、瘡ニモも當帰
セシム。若初発ノ時即テ腰痛ヒ瘡モアスヒテ掌主筋者ハ
ヌケテ是大瘡毒腎間留滞ノ發熱セヌイハレナリ。

瘡瘍大表裡ア虚实ヲ見分治スレ

吐ヒタリ汗シテリノ不食スルハ裡ノ虛シ貴、白本ナリト

鼻氣生長者、此即ノ裏アセ也。其氣を断テ虚ノ叶ヒ者、實也。

此即ノ陰道ノ末上段氣しト虚實シ、各ナリ。色白者、氣也。色赤者、

火也。鼻氣、鼻角也。鼻角者、鼻氣也。鼻氣者、鼻角也。鼻角者、鼻氣也。

瘡瘍瘧人急シラケ頂キ久キ、行多未だ虛主也。

白木ナリト、赤ウナ。草木ナリト、根也。

瘡瘍色紅ニテレクヨリ也、フクシテ汎共火主衣矣アリ

升ナ葛ニ貴、紫ナ

瘡瘍火毒、汎シテ五ヘタニテ毒行スル則ハ望衛虛ノ表ニラ

毒行則ニ内壳虛ノ瘡毒ナドナ及ナ人腎、故ノ里、斐エ

ナリクホニ一生行ケテ、火毒也。火毒者、根也。而ノ瘡名ク

人瘡瘍瘻熱ノ時本

寒コニテ、熱ノアタリヒテ

アクリ眼中ニアラス
凡瘡瘍ノ色白ノ太火氣無、補ヤヨ 今ナ白木葛

凡瘡瘍ノ色白ノ太火氣無、補ヤヨ 今ナ白木葛
耳十行十 痘瘍瘍瘍ノ二便ソヨキ者ハ犀角甘草

治療ノ大法血ヲ活シ氣ヲ調ヘ表ヲ安シ中ヲ和シカレタ清毒
酒ニ辛劇温涼ガ子固ニヨシ 温トハ行氣 本喬

白木今ノ賴ニ涼トハ西 苦舟升涌空ノ葷天 甘草
佐使ノ葉六弓行吉 美丁茶ノ飴ヲ用音

止瀉二治ノ合別表ノ丸座ノ起坐又坐ナ人之ニ至多

表裏去尽サヌ裏ニホニテ甚ハ且未見、靈クニテ效

蜜水ニテモセリ 腹目ニヨシテマニテセツヒレ

瘡瘍瘍瘍ノ里瘡瘍ノ者ハカルクスレキナ美ニテ火熱ノ退ニヨ

苦片割 苦ノ類

瘡瘍ノ計タハ茎、生葉ノ凡葉、テ表ノ温えヲクハナカ

時ニツクリヒト聴鶯ケアラスハ外風寒ノ邪ノ感シ内火熱ノ解

火ナリ 甚脚半身ナ赤白ノ草ナ細ナ貴ナ西ナ

瘡瘍ノ計タ來火ノ吐利落合年ノ傳寒或ノ石食ヲセバ

青牛車停寒或ノ入火ノ白木

酒ノ味、寒ノ瑞食尸化者丁度

五味子酒

ト重吉 実書 痘無吉 杏
痘疹ハ心形ニシテアヤムトミテラ見合ヘキ
起変セヌ故計マキリ 六十石 畜牛馬鹿
上半身マツキノ皮毛ハれ已セドリ 杏中麦門 鹿ト牛
吉ナ貴ニ 本ク 生瘻出ナガリ嘔タルハ秋丸共ニ止ムモ耳
アソカナフヘ 六十石 + 売ウス 荆ナ 生牛馬ナキ 亂
さ + 大便結ゼハ 有大虎ナ 丸ナ 本ク 丸ノ用之

痘疹ニモナニモ子母ナニシ類アリ 痘出ナ足ニヒリ痘根モ草
江ナクル 汗モ大渴セヌ氣食ナミノコトク半足能キロ、痘
ノ子モ大熱ナシ。汗出後瘻出ナシ。其後日瘻出ナシ。此後瘻出ナ
ハセス。寒アシナスハ寒ナリ
不洁ノ証アリ。痘瘻ノヨク毒ノ
毒ワタリ治毛ナ。痘瘻里ナ。端ノマエカクス 反ノ毛ソシラテ
痘ノ痘身ニ取蟲充ナ。頭ハアタカノ足冷。同毛水者ナ
表ハヤク 汗出ナ。以上是アホ木伊証トエテナツルジテ
痘毒腺入テ痘ニ草次明子テ 未勾ナシ。二葉小葉ノ茶ノ
一ノ分ナ。毛ナ皆ニ葉根ニ 本ク 草中 右オノ葉葉
モノ並ナリ。根ノ葉根ノ茶ノ葉根ノ葉葉ノ葉葉ノ葉葉ノ葉葉ノ葉葉

後餘音服後ノリテキニテ年越シテ解シテ
右臍病大牛瘻子良手割左耳中耳右耳中耳
前半ノ右耳中耳生瘻

前半ノ右耳中耳生瘻

ナタメナ入ナトキタテナム

ト穿ナ夜啼

蟬鳴

辰砂二粒蜜

股痛夜啼セマ六匁草勾白木木香右手ノ乳突

ヨリテノミセヨ

小兒四歳ナレ吉本マワリヨナ物ケイヒナ人薑根

右耳中耳生瘻

小兒三歳ナレ吉本

左耳中耳生瘻

右細末ノ本飲ニテカキタテ用ヘシ

小兒二三岁ナリテ薑ノ生花ハ體不足ノ音中ニタ

右細末ノ盐湯ナキタテ各セヨモ苦鹽アモセテ断

桃仁ヲクスツノトコノ汗アトイテ紬、ユルヘレ

小兒盛有熱アノ後、湯水少々飲ミ世厚氣流ヘシ

小兒盛有熱アノ後、湯水少々飲ミ世厚氣流ヘシ

小兒盛有熱アノ後、湯水少々飲ミ世厚氣流ヘシ

小兒乳、ア著、食茶、粉の乳及齶テ、毛毛子ア
一百群九、瘦氣、賤氣、也、大戰一味十九ス
圓管ア大、輕粉十九ス
車馬頭リ三色、コシラヘテ九ス、瘦氣、賤氣、妙

萬三製九ト云

小兒乳、ア著、食茶、粉の乳及齶テ、毛毛子ア
一百群九、瘦氣、賤氣、也、大戰一味十九ス
圓管ア大、輕粉十九ス
車馬頭リ三色、コシラヘテ九ス、瘦氣、賤氣、妙

小兒乳、ア著、食茶、粉の乳及齶テ、毛毛子ア
一百群九、瘦氣、賤氣、也、大戰一味十九ス
圓管ア大、輕粉十九ス
車馬頭リ三色、コシラヘテ九ス、瘦氣、賤氣、妙



L7

14

